

品質管理報告書作成システム



for Windows

第 11 版

Windows10 対応版

操作説明書

目 次

§1. システム概要	1
¶1. Quality Manager 概要	2
■ 概要	2
¶2. システムの起動・メイン画面	4
■ システムの起動方法	4
■ メイン画面の見かた	4
§2. マスタ管理	5
¶1. 混合物マスタ	6
■ 一覧画面	6
■ 既存マスタを編集する	6
■ マスタを新規登録する	7
■ マスタを削除する	7
■ 配合設計システム(排水性含む)から配合設計データを読み込む	8
¶2. 規格値マスタ, 路盤締固めマスタ	9
■ 一覧画面	9
■ マスタを新規登録する	10
■ 既存マスタを編集する	11
■ マスタを削除する	11
¶3. 旧バージョンのマスタを読み込む	12
■ Quality Manager 3.X, 1.9.X から混合物マスタを読み込む	12
§3. 報告書の作成	13
¶1. 報告書データファイルの作成	14
■ データファイルを新規作成する	14
■ データファイルの表示を絞り込む	15
■ データファイルの編集を行う	15
■ データファイルを削除する	16
■ データファイルを複写する	16
¶2. 報告書(試験結果)の入力	17
■ 基本設定を行い、様式・管理項目を決定する	17
■ 現場管理ファイルに対し、日常管理データファイルの内容をコピーする	22
■ 品質管理データ編集画面の見かた、基本的な入力方法	23
■ データ連動について	25
■ データの保存について	25
¶3. 各試験結果入力画面の詳細	26
■ 合成粒度試験	26
■ 基準密度試験	28
■ アスファルト抽出試験	29

■	プラント日常管理試験成績書（近畿様式）	30
■	プラント温度測定	31
■	マーシャル安定度試験	32
■	再生骨材のアスファルト針入度推定試験	33
■	切取コア密度試験	34
■	コアラベル印刷	36
■	切取コア抽出試験	38
■	現場温度測定	39
■	現場密度試験	40
■	管理表・管理図	41
■	総括表	42
¶4.	報告書の印刷	43
■	品質管理試験報告書を印刷する	43
§4.	データフォルダの管理	44
¶1.	データフォルダを管理する	45
■	データフォルダとは	45
■	データフォルダの選択	46
■	データフォルダの新規作成	46
■	フォルダの名称変更	47
■	データフォルダの削除	47
¶2.	エクスポート／インポート	48
■	エクスポート(フォルダの退避)／インポート(フォルダの復帰)とは	48
■	フォルダをエクスポートする	48
■	フォルダをインポートする	48
¶3.	バックアップ／リストア	49
■	バックアップ(データベース全体の退避) / リストア(データベース全体の復帰)	49
■	データベースをバックアップする	49
■	データベースをリストアする	49
§5.	環境設定	50
¶1.	環境設定	51
■	環境設定を行う	51
¶2.	既定値設定	52
■	既定値設定を行う	52
§6.	その他の機能	54
¶1.	その他の機能	55
■	よくある質問(FAQ)を確認する	55
■	現在のバージョンを確認する	55

§7. インストール	56 -
¶1. システムのインストール/アンインストール	57 -
■ 各種ツールをインストールする	57 -
■ <i>Quality Manager</i> をインストールする	57 -
■ <i>Quality Manager</i> の初回起動について	58 -
■ <i>Quality Manager</i> を最新バージョンに更新する	59 -
■ <i>Quality Manager</i> をアンインストールする	59 -
§8. 注意事項	60 -
¶1. 注意事項	61 -
■ データ保存場所について	61 -
■ ライセンス登録について	61 -

§1. システム概要

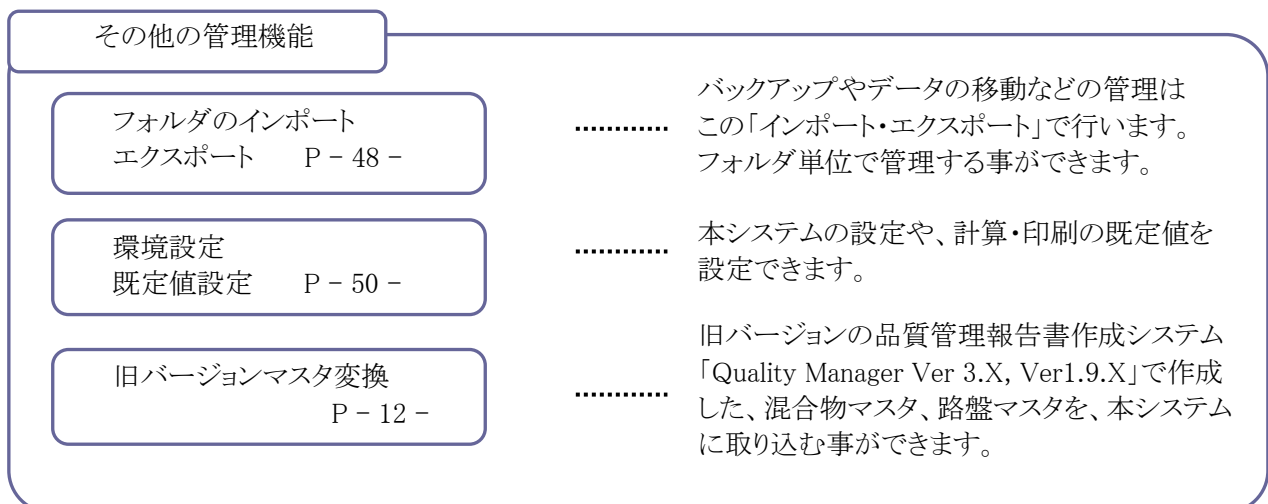
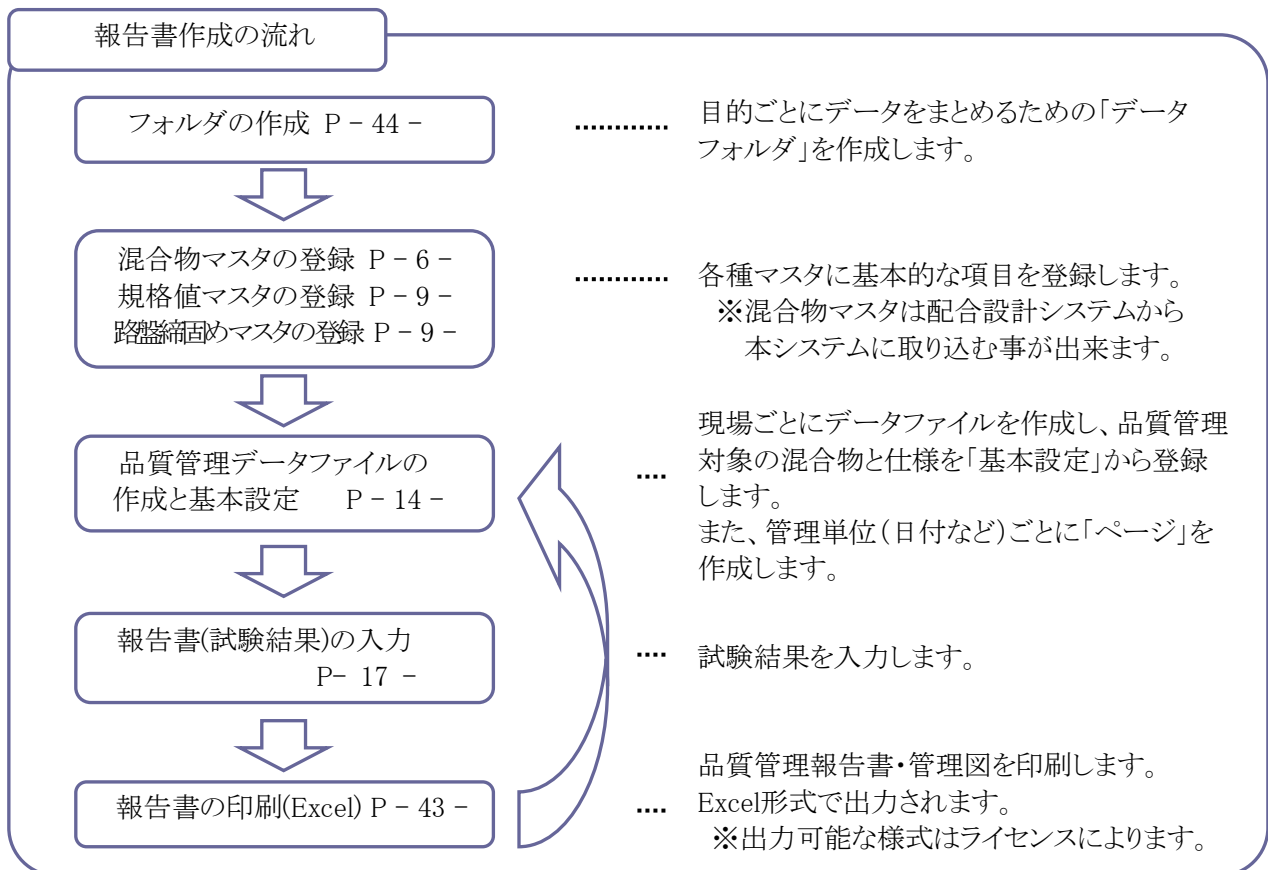
1. Quality Manager 概要

■ 概要

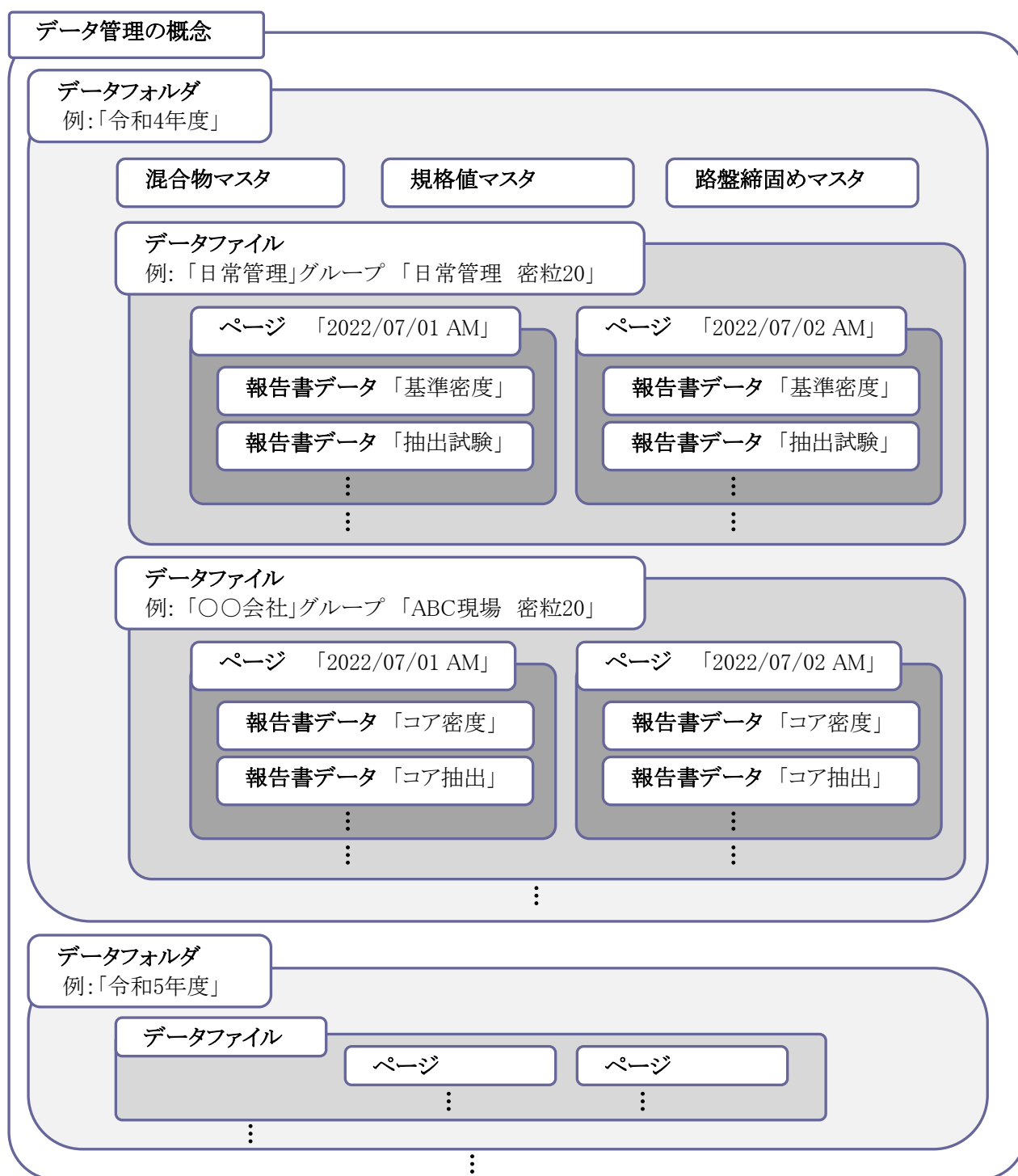
「Quality Manager 品質管理報告書作成システム」(以下、本システム)は、下記の機能を提供します。

- ・合材プラント、および、舗装現場の品質管理試験結果を電子データとして記録し、品質管理試験報告書を作成する。
- ・各種試験結果の管理図を作成し、傾向分析を行う。

本システムの運用の流れは下記の通りとなります。



本システムでは、データの管理を下図の親子関係で行います。
本システムを扱う上で、この概念は非常に重要です。



作成の一例を示します。

データフォルダは、「令和4年度」「令和5年度」のように作成します。

各マスタは、フォルダごとに登録します。作成したマスタは、同じフォルダ内で使用できます。

データファイルは、日常管理・会社ごとに「日常管理」「〇〇会社」のようにグループ名を登録します。そして、現場ごと・混合物のまとまりごとに「日常管理 密粒20」「ABC現場 密粒20」のように名称を登録します。

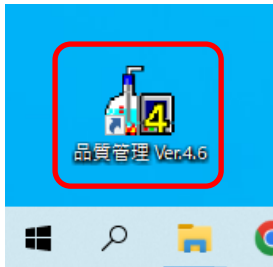
ページは、試験日・午前午後などの単位で登録します。

報告書データは、各品質管理試験のデータである「抽出試験」「切取コア密度試験」などが保存されます。

2. システムの起動・メイン画面

■ システムの起動方法

システムを起動するには、デスクトップのショートカット「品質管理 Ver.X.X」をダブルクリックします。



■ メイン画面の見かた

システムを起動すると、以下のような画面が起動します。
この画面から、フォルダ管理、マスタ登録、報告書作成、環境設定などを行います。
報告書を作成する場合は、下図の①、②、③の順に操作します。

現在選択している
データフォルダの名称です。

③データファイルの追加・削除を
行う事ができます。⇒P - 14 -

表示するグループを
絞る事ができます。

No	分類名	グループ名	データファイル	メモ
1	A	01_ABC株式会社	〇〇〇〇工事 密粒20	
2	A	01_ABC株式会社	K.L.M現場 粗粒 13	
3	A	01_ABC株式会社	K.L.M現場 密粒 13	
4	あ行	11_あいう建設	〇〇号線 道路改良工事	
5	あ行	12_あいう建設	△△号線 道路改良工事	
6	あ行	12_あいう建設	〇〇〇〇工事	
7	あ行	12_あいう建設	〇〇〇〇工事 密粒 20	
8	か行	21_一口株式会社	一口現場 安定処理	
9	か行	21_一口株式会社	一口現場 粗粒 13	
10	か行	21_一口株式会社	一口現場 密粒 13	
11	か行	22_〇〇建設	〇〇現場 安定処理	
12	か行	22_〇〇建設	〇〇現場 粗粒 20	
13	か行	22_〇〇建設	〇〇現場 密粒 20	
14	か行	23_100建設工業	××道路工事	
15	か行	23_100建設工業	〇〇道路工事	
16	か行	24_〇〇〇〇会社	Z-Z現場 密粒 20	
17	さ行	31_△△株式会社	△△現場 粗粒 13	
18	さ行	31_△△株式会社	△△現場 密粒 13	
19	さ行	31_△△株式会社	〇〇現場 密粒 13	
20	さ行	31_△△株式会社	〇〇現場 密粒 13	
21	さ行	32_スカイ建設	△△現場 粗粒 20	
22	さ行	33_佐山工業	△△現場 粗粒 20	
23	日常管理	00_日常管理 H99.4.1~H99.4.30	再生粗粒度アスファルト混合物(20)	
24	日常管理	00_日常管理 H99.4.1~H99.4.30	再生粗粒度アスファルト混合物(13)	
25	日常管理	00_日常管理 H99.5.1~H99.5.31	再生粗粒度アスファルト混合物(20)	
26	日常管理	00_日常管理 H99.5.1~H99.5.31	再生粗粒度アスファルト混合物(13)	
27	日常管理	00_日常管理 H99.6.1~H99.6.30	再生粗粒度アスファルト混合物(20)	
28	日常管理	00_日常管理 H99.6.1~H99.6.30	再生粗粒度アスファルト混合物(13)	
29	日常管理	00_日常管理 H99.7.1~H99.7.31	再生粗粒度アスファルト混合物(20)	
30	日常管理	00_日常管理 H99.7.1~H99.7.31	再生粗粒度アスファルト混合物(13)	

②マスタの追加・削除を
行う事ができます。
⇒P - 5 -

①データフォルダの追加
削除、管理を行う事が
できます。⇒P - 44 -

環境設定や、既定値の
編集ができます。
⇒ P - 50 -

DBのバックアップや
リストアを行う事ができます。
⇒ P - 49 -

旧バージョンのマスタを
本システムに読み込みます。
⇒ P - 12 -

データファイルの一覧です。
ダブルクリックすると、報告書の
作成画面に移動します。
⇒P - 17 -

※ 導入直後は、データファイルは存在しません。

最新表示 ボタンをクリックすると、表示を最新の状態に更新します。

§2. マスタ管理

1. 混合物マスタ

■ 一覧画面

メイン画面より、**混合物マスタ登録** ボタンを押下すると、混合物マスタの一覧画面が開きます。
よく使う混合物を登録しておく事で、報告書入力の基本設定が簡単に入力できるようになります。
※混合物マスタについてのみ、一部のマスタが既定で準備されています。

操作メニューです。
マスタの新規追加・コピー・
内容の編集・削除ができます。

現在登録されているマスタの
一覧が表示されます。

配合設計システムからの
マスタ読み込みができます。

Quality Manager - 品質管理報告書作成システム

混合物マスタ登録

データフォルダSAMPLE

新規作成複製新規編集削除最新表示

配合設計データの読み込み排水性配合データの読み込み

No.	混合物名	補足名称	ふるい分け試験種別	突固め回数	実施アスファルト量	理論密度	OAC密度	OAC安定度	OACフロー値
1	00-1	アスファルト安定処理		50	4.00	2.506			
2	01-1	①粗粒度アスファルト混合物(20)		50	4.90	2.477			
3	02-1	②密粒度アスファルト混合物(20)		50	5.20	2.463			
4	02-2	②密粒度アスファルト混合物(13)		50	4.50	2.508			
5	03-1	③細粒度アスファルト混合物(13)		50	7.00	2.402			
6	04-1	④密粒度ギャップアスファルト混合物(13)		50	5.80	2.461			
7	05-1	⑤密粒度アスファルト混合物(20F)		50	5.20	2.506			
8	05-2	⑤密粒度アスファルト混合物(13F)		50	5.80	2.458			
9	06-1	⑥細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)		50	5.80	2.458			
10	07-1	⑦細粒度アスファルト混合物(13F)		50	5.80	2.461			
11	08-1	⑧密粒度ギャップアスファルト混合物(13F)		50	5.80	2.458			
12	09-1	⑨開粒度アスファルト混合物(13)		50	5.80	2.461			
13	SAM-01	再生アスファルト安定処理		50	4.00	2.527	2.322		
14	SAM-02	再生密粒度アスファルト混合物(13)		50	5.80	2.429	2.340	11.00	30
15	SAM-03	再生粗粒度アスファルト混合物(20)		50	5.10	2.455	2.362		
16	SAM-04	ポーラスアスファルト混合物(13)		50	4.80	2.484	1.985		
17	SAM-05	高機能舗装混合物		50	5.20	2.493	1.985		
18	SAM-06	開粒度アスファルト混合物(13)		50	4.50	2.482	2.073		
19	S-K01	高機能舗装混合物		50	5.20	2.493	1.985	6.40	27
20	S-P01	ポーラスアスファルト混合物(13)		50	4.80	2.484	1.985	6.40	27
21	V-08	開粒度アスファルト混合物(13)		50	4.50	2.482	2.073	6.85	23

・旧バージョンをお使いの方へ

Quality Manager 1.9.X / 3.X をお使いの方は、マスタを本システムに読み込む事ができます。
マスタ読み込みの方法については、P - 12 - を参照してください。

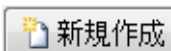
■ 既存マスタを編集する

一覧画面から内容を変更したい行を選択し、**編集** ボタンをクリックします。(または、変更したい行をダブルクリックします。)

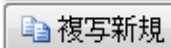
変更したい内容を入力し、**保存** ボタンをクリックすると新しい入力値で更新されます。

なお、編集では、「混合物コード」を変更する事はできません。

■ マスタを新規登録する



ボタンをクリックすると、マスタの登録画面が表示されます。



ボタンをクリックすると、既存のマスタ内容をコピーし、マスタ登録画面を起動します。

粒度範囲	実測粒度
53 (mm)	~
37.5	~
31.5	~
25.0	~
19	100 ~ 100
13.2	95 ~ 100
9.5	~
4.75	55 ~ 70
2.36	95 ~ 50
1.18	~
600 (μm)	18 ~ 30
300	10 ~ 21
150	6 ~ 16
75	4 ~ 8

材料名	配合率
1 381N	22.0
2 281N	12.0
3 181N	13.0
4 石粉	3.0
5 再生骨材	50.0
6	
7	
8	
合計	100.0

項目	規格値	自主管理値
アスファルト	~	150 ~ 160
骨材	~	165 ~ 185
混合物	~	155 ~ 175
出荷温度	~	155 ~ 175
到着温度	~	155 ~ 165
数均温度	~	150 ~ 160
初期温度	~	140 ~ 150

混合物コードは、フォルダ内で一意になるように入力します。

メイキングに使用する設定を行います。通常の入力では使用しません。

混合物の粒度、配合率、OAC密度といった情報を入力します。

範囲表示をしない場合、左側のみを入力します。

内容を入力後、 ボタンをクリックすると、入力した内容を保存します。一覧画面の最下段に登録したマスタが表示されます。

■ マスタを削除する

一覧画面から、削除したいマスタを選択し、 ボタンをクリックします。削除しようとしている混合物マスタの内容が表示されます。

OK

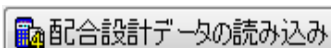
をクリックすると、選択したマスタが削除されます。

粒度範囲	実測粒度
53 (mm)	~
37.5	95 ~ 100
31.5	~
25.0	~
19	50 ~ 100
13.2	~
9.5	~
4.75	~
2.36	20 ~ 60
1.18	~
600 (μm)	~
300	~
150	~
75	0 ~ 10

材料名	配合率
1 4c"ン	24.0
2 3c"ン	13.5
3 2c"ン	8.5
4 1c"ン	32.0
5 石粉	2.0
6 再生骨材	20.0
7	
8	
合計	100.0

項目	規格値	自主管理値
アスファルト	~	150 ~ 180
骨材	~	165 ~ 185
混合物	~	155 ~ 175
出荷温度	~	155 ~ 175
到着温度	~	155 ~ 165
数均温度	~	150 ~ 160
初期温度	~	140 ~ 150

■ 配合設計システム(排水性含む)から配合設計データを読み込む



配合設計データの読み込み

ボタンをクリックすると、「配合設計データの読み込み」画面が起動します。

この画面から、配合設計システムで使用したデータを読み込む事ができますので、配合設計システムと同じデータを使用して品質管理を行う事ができます。

同様に、排水性配合設計システムからデータを読み込む場合、排水性配合データの読み込み から行います。

配合設計データの読み込み

配合設計報告書作成システム(Mix Designer Ver.4.x)の配合設計データを混合物マスタに読み込みます。

読み込み元のデータフォルダの選択

No.	配合設計データフォルダ
1	管理フォルダ1
2	20XX年①
3	20XX年②

読み込むデータファイルの選択

No.	配合設計データファイル	混合物コード	読み込み対象	混合物コード	混合物名	補足名称	ふるい分け試験種別	保存モード
1	再生粗粒度アスファルト(20)R50%	R-002	☐					
2	再生粗粒度アスファルト(20)R50% ②	R-002	☒	R-002	再生粗粒度アスファルト混合物(20)			新規保存
3	再生密粒度アスファルト(13)R50%	R-003	☐					
4	再生密粒度アスファルト(13)R50% ②	R-003	☒	R-003	再生密粒度アスファルト混合物(13)			新規保存
5	密粒度アスコン 改質 (13F)	05-1	☐					
6	密粒度アスコン 改質 (13F) ②	05-1	☐					
7	密粒度アスコン 再生 (13F)	05-1	☒	05-2	⑤密粒度アスファルト混合物(13F)			上書き保存
8	密粒度アスコン 再生 (13F) ②	05-1	☐					
9	密粒度アスコン 再生 (20F)	05-1	☐					
10	密粒度アスコン 再生 (20F) ②	05-1	☐					
11	密粒度アスファルト混合物(13F)	05-2	☐					

※同一のコードが既に存在する場合は、上書き保存されます。必要に応じて保存先の混合物コードを変更してください。
※上書き保存の場合、混合物名は読み込まれません。現在の混合物名が維持されます。

OK キャンセル

② 配合設計システムのデータファイル一覧です。
読み込みたい配合設計ファイルにチェックを付けます。

③ 品質管理システムで使いたい混合物コードを入力します。
配合設計システムの混合物コードと混合物名が既定値として設定されますので、使いたいコードに変更してください。

品質管理システムで使用中のコードを入力すると、当該のマスタに対してデータを上書きします。

内容を入力後、ボタンをクリックすると、入力した内容を読み込みます。

一覧画面の最下段に登録したマスタが表示されます。

2. 規格値マスタ, 路盤締固めマスタ

■ 一覧画面

メイン画面より、**規格値マスタ登録** **路盤締固めマスタ登録** ボタンを押下すると、それぞれ、マスタの一覧画面が開きます。

規格値マスタでは、混合物マスタの規格値を計算する為の規格範囲をセットしておく事ができます。
路盤締固めマスタでは、締固め試験に使用する容器等の基本情報を登録しておく事ができます。

[規格値マスタ]

No.	規格値名称
1	X030 X3 瀝青安定処理
2	X031 X3 基層
3	X032 X3 表層
4	X060 X6 瀝青安定処理
5	X061 X6 基層
6	X062 X6 表層
7	X100 X10 瀝青安定処理
8	X101 X10 基層
9	X102 X10 表層

操作メニューです。
マスタの新規追加・コピー・
内容の編集・削除ができます。

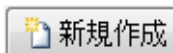
現在登録されているマスタの
一覧が表示されます。

路盤締固めマスタの操作方法については、規格値マスタと同じです。

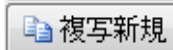
[路盤締固めマスタ]

No.	路盤締固め名称
1	R01 路盤 1
2	R02 路盤 2
3	R03 路盤 3
4	R04 路盤 4

■ マスタを新規登録する



ボタンをクリックすると、マスタの登録画面が表示されます。



ボタンをクリックすると、既存のマスタ内容をコピーし、マスタ登録画面を起動します。

[規格値マスタ]

規格値マスタ

規格値コード X033 【複写新規】

規格値名称 X3 表層

管理項目		規格値	自主管理値
日常管理	合成粒度	粒度 2.36mm 設計値 + 7.0 - 7.0	設計値 + 6.5 - 6.5
		粒度 75μm 設計値 + 3.0 - 3.0	設計値 + 2.5 - 2.5
	基準密度試験	基準密度 設計値 + -	設計値 + -
	アスファルト抽出試験	粒度 2.36mm 設計値 + 7.0 - 7.0	設計値 + 6.5 - 6.5
		粒度 75μm 設計値 + 3.0 - 3.0	設計値 + 2.5 - 2.5
		アスファルト量 設計値 + 0.50 - 0.50	設計値 + 0.40 - 0.40
現場管理	コア密度試験	締固め度(個々) ~	~
		締固め度(平均) 96.5 ~	96.8 ~
		厚さ(個々) 設計値 + - 0.7	設計値 + - 0.6
		厚さ(平均) 設計値 + -	設計値 + -
	コア抽出試験	粒度 2.36mm 設計値 + 7.0 - 7.0	設計値 + 6.5 - 6.5
		粒度 75μm 設計値 + 3.0 - 3.0	設計値 + 2.5 - 2.5
		アスファルト量 設計値 + 0.50 - 0.50	設計値 + 0.40 - 0.40
	現場密度試験	締固め度(個々) ~	~
		締固め度(平均) 96.5 ~	96.8 ~

保存 キャンセル

コードは、フォルダ内で一意になるように入力します。

名称・規格値の範囲を入力します。

ここで入力した規格値は、混合物マスタの「規格範囲の計算」機能でのみ使用されます。 P-9 -

「設計値」は混合物マスタの左側に入力した値です。

路盤締固めマスタの操作方法については、規格値マスタと同じです。

[路盤締固めマスタ]

路盤締固めマスタ

路盤締固めコード 【複写新規】

路盤締固め名称 路盤 1

試験前(砂+容器)質量	4002.7
ベースプレート中の砂の質量	1441.9
砂の単位体積質量	1.360
容器質量	50.2
最大乾燥密度	2.475

メイキング用乱数範囲	
試験前(砂+容器)質量	4001.0 ~ 4004.0
ベースプレート中の砂の質量	1441.0 ~ 1446.0
砂の単位体積質量	1.355 ~ 1.365
容器質量	50.0 ~ 51.0
含水比	4.30 ~ 4.40
最大乾燥密度	2.470 ~ 2.480
締固め度	98.0 ~ 99.0
穴の直径	9.5 ~ 10.5
穴の深さ	14.5 ~ 15.5

保存 キャンセル

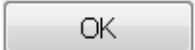
■ 既存マスタを編集する

一覧画面から内容を変更したい行を選択し、 **編集** ボタンをクリックします。(または、変更したい行をダブルクリックします。)

変更したい内容を入力し、 **保存** ボタンをクリックすると新しい入力値で更新されます。
なお、編集では「規格値コード」「路盤締固めコード」を変更する事はできません。

■ マスタを削除する

一覧画面から、削除したいマスタを選択し、 **削除** ボタンをクリックします。
削除しようとしている混合物マスタの内容が表示されます。

 **OK** をクリックすると、選択したマスタが削除されます。

[規格値マスタ]

規格値マスタ

規格値コード: X032 【削除】

規格値名称: X3 表層

管理項目		規格値	自主管理値
日常管理	合成粒度	粒度 2.36mm 設計値 + 7.0	設計値 + 6.5
		粒度 75μm 設計値 + 3.0	設計値 + 2.5
	基準密度試験	基準密度 設計値 +	設計値 +
		粒度 2.36mm 設計値 + 7.0	設計値 + 6.5
	アスファルト抽出試験	粒度 75μm 設計値 + 3.0	設計値 + 2.5
		アスファルト量 設計値 + 0.50	設計値 + 0.40
		アスファルト量 設計値 - 0.50	設計値 - 0.40
	現場管理	コア密度試験	締固め度(個々) ~
締固め度(平均) 96.5 ~			96.8 ~
コア抽出試験		厚さ(個々) 設計値 +	設計値 +
		厚さ(平均) 設計値 +	設計値 +
現場密度試験		粒度 2.36mm 設計値 + 7.0	設計値 + 6.5
		粒度 75μm 設計値 + 3.0	設計値 + 2.5
		アスファルト量 設計値 + 0.50	設計値 + 0.40
現場密度試験		締固め度(個々) ~	~
		締固め度(平均) 96.5 ~	96.8 ~

このマスタを削除します。よろしいですか? OK キャンセル

[路盤締固めマスタ]

路盤締固めマスタ

路盤締固めコード: R01 【削除】

路盤締固め名称: 路盤 1

試験前(砂+容器)質量	4002.7
ベースプレート中の砂の質量	1441.9
砂の単位体積質量	1.380
容器質量	50.2
最大乾燥密度	2.475

メイキング用乱数範囲	
試験前(砂+容器)質量	4001.0 ~ 4004.0
ベースプレート中の砂の質量	1441.0 ~ 1446.0
砂の単位体積質量	1.355 ~ 1.385
容器質量	50.0 ~ 51.0
含水比	4.30 ~ 4.40
最大乾燥密度	2.470 ~ 2.480
締固め度	98.0 ~ 99.0
穴の直径	9.5 ~ 10.5
穴の深さ	14.5 ~ 15.5

このマスタを削除します。よろしいですか? OK キャンセル

13. 旧バージョンのマスタを読み込む

Quality Manager 3.X, 1.9.X から混合物マスタを読み込む

メイン画面から、**旧バージョンマスタ変換** ボタンを使用すると、旧バージョンの品質管理報告書作成システム【Quality Manager Ver.1.9.X / 3.X】で作成した混合物マスタ、路盤締固めマスタを本システムに読み込む事ができます。

旧バージョン(3.x 以前)のマスタ内容を、本システムのマスタに保存します。

旧バージョンのマスタファイルの選択

マスタファイルの選択 選択するマスタファイル名は「QumMaster.mdb」です。

C:\Users\User\Desktop\QumMaster.mdb

混合物マスタの変換設定

【注意】

- ・同一のコードが既に存在する場合は、上書き保存されます。必要に応じて保存先マスタのコードを変更してください。
- ・変換処理から除外したマスタがある場合は、保存先マスタのコードを空欄にしてください。
- ・抽出試験用の乱数範囲は、「標準版のソックスレー抽出試験用乱数範囲」の値が保存されます。

No.	コード	旧バージョンマスタ 名称	コード	保存先マスタ 名称	補足名称	変換モード
1	AN0001	アスファルト安定処理	010	アスファルト安定処理		新規保存
2	KA1001	開粒度アスコン(13)	020	開粒度アスコン(13)		新規保存
3	MI0001	密粒度アスコン(20)	030	密粒度アスコン(20)		新規保存
4	MI0002	密粒度アスコン(13)	040	密粒度アスコン(13)		上書き保存
5	MI0003	密粒度アスコン(20F)	050	密粒度アスコン(20F)		上書き保存
6	MI0004	密粒度アスコン(13F)	060	密粒度アスコン(13F)		上書き保存
7	MI0001	密粒度ヤップアスコン(13)				
8	MI0002	密粒度ヤップアスコン(13F)				
9	SA0002	細粒度アスコン(13)				
10	SA0003	細粒度アスコン(13F)				
11	SA0001	細粒度ヤップアスコン(13F)				
12	SO0001	粗粒度アスコン(20)				

その他のマスタの変換設定

☐ 路盤締固めマスタを交換する

【注意】

- ・同一のコードが既に存在する場合は、全て上書き保存されます。

変換開始 キャンセル

旧バージョンの配合マスタファイルを選択します。

旧バージョンの混合物マスタ一覧が表示されます。

読み込む混合物マスタの一覧です。読み込みたい混合物について、本システムで使用するコードを入力します。読み込まない場合は空欄を設定します。※コードが重複している場合、強制的に上書きしますのでご注意ください。

変換開始を押すと、読み込みを行います。

チェックをつけると、路盤締固めマスタについて、登録されている全ての内容を上書き更新します。

読み込みが正常に完了すると、ダイアログが表示されますので **OK** をクリックします。各マスタの一覧画面に対し、読み込んだ混合物マスタが追加されます。

・注意！

この機能はシステム導入時専用の処理です。登録済みのマスタを上書きする場合もあるため、十分注意して作業を行って下さい。

§3. 報告書の作成

1. 報告書データファイルの作成

■ データファイルを新規作成する

本システムでは、現場ごとの報告書を1つのデータファイルとして管理します。

報告書を作成するには、まず、データファイルを作成する必要があります。

データファイルは、メイン画面より作成します。

※ 表示分類・グループの選択欄は、システムに登録されている全ての内容が選択リストに表示されます。

①新規作成をクリックします。

②新規作成画面が表示されますので分類名、グループ名、ファイル名を入力します。
※ ファイル名はフォルダ内で一意にすることをお勧めします。

③OKボタンをクリックすると、ファイルが登録されます。

新しいファイルが追加されました。

[運用しやすいファイル名の参考例]

項目	説明
分類・グループ名	例として、日常管理の場合は「日常管理」と登録します。 現場管理の場合は「〇〇〇会社」などの会社名を登録します。 先頭に数値を振っておくと、数値の順序で並ぶためおすすめです。
ファイル名	フォルダ内で一意になるよう登録します。 現場名、混合物の順番で登録すると現場ごとにファイルが並ぶためおすすめです。

■ データファイルの表示を絞り込む

「表示分類・グループ」を選択すると、データファイル一覧に表示するグループを絞り込む事が出来ます。
例としてグループ名に会社名を登録しておく、会社名単位に現場管理を行う事ができます。
全てのグループを表示させる場合、表示グループ欄を空欄にします。

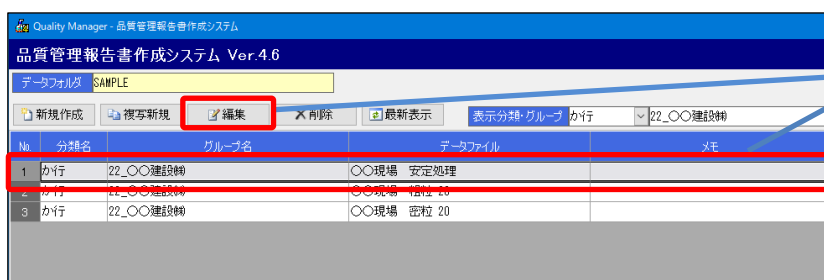
※ 表示分類・グループの選択欄は、システムに登録されている全ての内容が選択リストに表示されます。



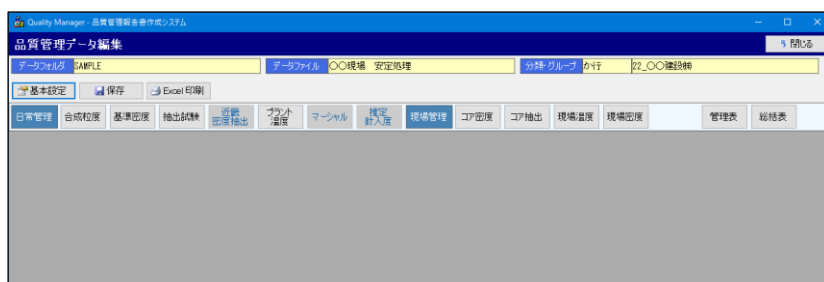
「か行」分類、かつ
「22_〇〇建設」グループ
のみ表示されています。

■ データファイルの編集を行う

データファイルに試験結果を入力、編集、印刷などを行うには、「品質管理データ編集画面」を表示します。
品質管理データ編集画面の使用方法は、P - 17 - を参照してください。



編集したいファイルを選択し、
編集をクリックします。
または、編集を行いたいファイルを
ダブルクリックします。



品質管理データ編集画面が
表示されます。

■ データファイルを削除する

削除はデータファイルと、データファイルに格納されているデータを削除します。

No	分類名	グループ名	データファイル	メモ
1	か行	21_□□株式会社	□□現場 安定処理	
2	か行	21_□□株式会社	□□現場 粗粒 13	
3	か行	21_□□株式会社	□□現場 密粒 13	
4	か行	22_○○建設㈱	○○現場 安定処理	
5	か行	22_○○建設㈱	○○現場 粗粒 20	
6	か行	22_○○建設㈱	○○現場 密粒 20	
7	か行	23_△△建設工業㈱	××道路工事	
8	あ行	22_△△建設工業㈱	○○道路工事	
9	か行	99_○○○会社	ZZ現場 密粒 20	

②削除ボタンをクリックします。

①削除したいファイルを選択します。

データファイルの削除

データファイルを削除します。よろしいですか？

削除

分類名: か行

グループ名: 99_○○○会社

ファイル名: ZZ現場 密粒 20

OK キャンセル

③確認画面が表示されますので、削除してもよい場合はOKをクリックします。

■ データファイルを複写する

複写新規は、データファイルに格納されているデータを全てコピーして、新しいデータファイルを作成します。

No	分類名	グループ名	データファイル	メモ
1	か行	21_□□株式会社	□□現場 安定処理	
2	か行	21_□□株式会社	□□現場 粗粒 13	
3	か行	21_□□株式会社	□□現場 密粒 13	
4	か行	22_○○建設㈱	○○現場 安定処理	
5	か行	22_○○建設㈱	○○現場 粗粒 20	
6	か行	22_○○建設㈱	○○現場 密粒 20	
7	か行	23_△△建設工業㈱	××道路工事	
8	あ行	22_△△建設工業㈱	○○道路工事	
9	か行	99_○○○会社	ZZ現場 密粒 20	

②複写新規ボタンをクリックします。

①コピーしたいファイルを選択します。

データファイルの複写新規

複写元をコピーして新しいデータファイルを作成します。

複写元

分類名: か行

グループ名: 99_○○○会社

ファイル名: ZZ現場 密粒 20

複写先

分類名: か行

グループ名: 99_○○○会社

ファイル名: ZZ現場 密粒 20_コピー

OK キャンセル

コピー元ファイルの情報が表示されます。

③新しく作成するファイルのファイル名を入力します。

④OKを押すと、ファイルが作成されます。

2. 報告書(試験結果)の入力

基本設定を行い、様式・管理項目を決定する

メイン画面から、データファイルの編集を行うと、まず「基本設定画面」が表示されます。
この画面から、作成する報告書の様式、混合物の種別、計算区分、配合率、規格値などの設定を行います。
品質管理に関するこれら基本的事項は、全て基本設定から入力します。
基本設定を行う事で、試験値の入力や管理図の利用ができるようになります。

概要

①

④

日常管理試験結果の一部を現場管理にコピーする際に使用します。

②

※コア設計厚は、管理図に表示される規格値の計算に利用されます。

日常管理データのコピー

※データが登録されている箇所は背景が緑色で表示されます。

③

OKをクリックすると、入力内容を確定します。

OK キャンセル

No.	混合物	混合物名	補足名称	ふるい分け試験種別	ふるい分け試験目数	密度	計算方法	マンセル計算方法	マンセル計算密度	マンセル計算空隙率	コア厚さ	コア設計厚	コア設計空隙率
1	SAM-02	再生密粒度アスファルト混合	ホットビ	○	○	かさ	標準	平均のみ	1桁	1桁	1桁	1桁	1桁
2	SAM-07	再生密粒度アスファルト混合	コールドビン	○	○	かさ	標準	平均のみ	1桁	1桁	1桁	1桁	1桁
3	SAM-03	再生粗粒度アスファルト混合	(なし)	○	○	かさ	標準	平均のみ	1桁	1桁	1桁	1桁	1桁
4			(なし)	○	○	かさ	標準	平均のみ	1桁	1桁	1桁	1桁	1桁
5			(なし)	○	○	かさ	標準	平均のみ	1桁	1桁	1桁	1桁	1桁

No.	日付	行挿入	行削除	混合物	日常管理				現場管理				
					合成粒度	基準密度	抽出試験	近畿密度抽出	マンセル密度	マンセル空隙率	マンセル空隙率	マンセル空隙率	マンセル空隙率
1	2022/05/18 AM	+	-	1:再生密粒度アスファルト	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	2022/05/18 AM	+	-	1:再生密粒度アスファルト	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	2022/05/18 AM	+	-	2:再生密粒度アスファルト	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	2022/05/20	+	-	2:再生密粒度アスファルト	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	2022/06/14	+	-	3:再生粗粒度アスファルト	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	2022/06/15	+	-	3:再生粗粒度アスファルト	○	○	○	○	○	○	○	○	○

画面概要

項目	説明
①	データファイル、分類名、グループ名、メモは、一覧画面に表示される名称です。 会社名、プラント名、報告日、工事名、施工場所、施工業者は、報告書Excelに印刷する内容を設定します。 出力様式関連の欄は、作成する報告書や実施する試験に合わせて決定します。 ※表示分類・グループの選択欄は、システム全ての登録内容が選択リストに表示されます。
②	「ページ設定」タブの上段では、管理対象となる混合物の情報、使用する規格値を入力します。 使用する混合物に合わせて入力します。
③	「ページ設定」タブの下段では、作成する報告書を決定します。 チェックを付けた報告書を入力・Excel出力する事ができます。
④	「混合物1～混合物5」タブでは、混合物の粒度・密度や、品質管理に関わる規格値、自主管理値を設定します。また、管理図・温度管理で使用する管理範囲を決定します。

次頁から画面の操作方法を説明します。

・①ファイル設定

基本設定

データファイル KLM現場 再生密粒 13

分類名 A

グループ名 01_ABC株式会社

メモ 【品質管理 標準様式】

会社名 株式会社〇〇

プラント名 田中合材プラント

報告日 2022年05月20日

工事名 〇〇道路 補修工事

施工場所 柏崎市××

施工業者 株式会社〇〇

表紙用混合物名 再生密粒度アスファルト混合物(13)

表紙 標準様式 9.5mmふるい 使用しない

基準密度・抽出 標準様式 1.18mmふるい 使用しない

コア密度試験 標準様式

抽出試験方法 遠心分離法

プラント温度項目種別 時間 初転圧温度下限値 110

現場温度項目種別 台数 ※現場温度グラフに描画されます。

合成粒度計算種別 粒度範囲の有るふるい目のみ

データファイルの設定を行います。
重要な項目ですので、最初に全て
設定します。

[操作の流れ]

1. データファイル名、分類名、グループ名、メモ、会社名、プラント名、報告日、工事名、施工場所、施工業者を入力します。
2. 出力様式関連の欄から、使用様式を決定します。
3. ②ページ設定(上段)へ

[ファイル設定]

項目	説明
データファイル・分類名 グループ名・メモ	一覧の表示に使用します。 データファイル名は空にできません。
会社名・プラント名 報告日・工事名 施工場所、施工業者 表紙用混合物名	Excel印刷に使用します。 改行は[Ctrl + Enter]で行います。
表紙 基準密度・抽出	作成する報告書の様式を選択します。 この選択により、画面右「ページ設定」欄で選択できるチェック内容が変化します。 また、出力される報告書Excelの様式が変化します。 下記の2種類の中から選択します。 ・標準様式 ・近畿様式
コア密度試験	現場管理「切取コア密度試験」のExcel出力様式を選択します。 下記の4種類の中から選択します。 ・標準様式 ・栃木様式 ・東北様式 ・中部様式
抽出試験方法	選択した抽出試験方法で、抽出試験の計算、報告書Excelの出力が行われます。 対象は日常管理「プラント抽出試験」および、現場管理「切取コア抽出試験」です。 下記の3種類の中から選択します。 ・ソックスレー法 ・遠心分離法 ・焼却法
プラント温度項目種別 現場温度項目種別	温度管理で使用する管理項目の設定を行います。 既定値は、プラントが「時間」、現場が「台数」です。 下記の2種類の中から選択します。 ・時間→ 出荷時間で温度管理します ・台数→ 出荷台数で温度管理します
合成粒度計算種別	合成粒度表において、合成粒度を算出する条件を下記の2種類から選択します。 ・全てのふるい目を計算 ・粒度範囲の有るふるい目のみ
9.5mmふるい 1.18mmふるい	当該のふるいを使用する場合、「使用する」を選択します。 既定値は「使用しない」です。
初転圧温度下限値	現場温度の初転圧温度規格値に使用されます。

②ページ設定(上段)

ページ設定 混合物1 混合物2 混合物3 混合物4 混合物5

No.	混合物 コード	混合物名	補足名称	ふるい分け 試験種別	基準密 度転送	密度 計算方法	マーシャル計算方法 密度	マーシャル計算方法 空隙率	コア厚さ 小数	コア設計工種	コア設計厚	規格値コード
1	SAM-02	再生密粒度アスファルト混合		ホットビン	☐	かさ	標準	平均のみ	1桁			
2	SAM-07	再生密粒度アスファルト混合		コールドビン	☐	かさ	標準	平均のみ	1桁			
3	SAM-03	再生粗粒度アスファルト混合		(なし)	☐	かさ	標準	平均のみ	1桁			
4				(なし)	☐	かさ	標準	平均のみ	1桁			
5				(なし)	☐	かさ	標準	平均のみ	1桁			

※コア設計厚は、管理図に表示される規格値の計算に利用されます。

日常管理データのコピー

※データが登録されている箇所は背景が緑色で表示されます。

No.	日付	行 挿入	行 削除	混合物	合成 密度	基準 密度	抽出 試験	近畿 密度抽出	ブラ ント 抽出	マール シヤル 温度	確定 かさ 密度	コア 密度	現場 密度	現場 密度
1	2022/05/18 AM	+	-	1:再生密粒度アスファルト	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒
2	2022/05/18 AM	+	-	1:再生密粒度アスファルト	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒
3	2022/05/18 AM	+	-	2:再生密粒度アスファルト	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒
4	2022/05/20	+	-	2:再生密粒度アスファルト	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒
5	2022/06/14	+	-	3:再生粗粒度アスファルト	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒
6	2022/06/15	+	-	3:再生粗粒度アスファルト	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒

行追加

入力する混合物を決定します。
最初に全て設定します。

[操作の流れ]

1. 混合物コードを選択します。
2. ふるい分け試験種別 ～ コア設計厚 を設定します。
3. 規格値コードを選択します。
4. 混合物の粒度・密度等、および、規格値の確認については、「混合物1～5」タブから行います。
5. ③ページ設定(下段)へ

[ページ設定]

項目	説明
混合物コード	混合物は最大5個、設定できます。 設定した行番号と混合物名は、システムの様々な場所で使用されます。 混合物マスタに登録してある内容が表示されます。 選択すると、登録してある設定が読み込まれます。 読み込まれる対象は下記の欄です。 ・混合物名 ・粒度範囲 ・実施粒度 ・材料名 ・配合率 ・突固め回数 ・実施アスファルト量 ・理論密度 ・OAC密度 ・規格値 ・OAC安定度 ・OACフロー値 ・アスファルト種類 ・アスファルト密度 ・アスファルト温度 ・混合温度 ※マスタを使用せず、全てを入力する場合は空欄でも構いません。
混合物名	Excel印刷などに利用されます。
補足名称	使用する混合物名、補足名称を入力します。
ふるい分け試験種別	下記の3種類から選択します。 ・(なし) ・ホットビン ・コールドビン ふるい分け試験を行う場合は、ホットビンまたはコールドビンを選択します。 「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。
基準密度転送	当該混合物の「OAC密度」を切取コア密度試験の「基準密度」に転送する場合、チェックを付けます。なお、チェックの状態は保持されません。
密度計算方法	「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。 密度の計算方法を下記の4種類から選択します。 ・表乾 ・かさ ・見掛 ・ノギス法
マーシャル計算方法 — 密度	標準 : 標準のマーシャル安定度試験 ※ 密度計算は密度計算方法の(表乾、かさ、見掛、ノギス法)により切り替わります。 II型 : 真空パック密度を含めたマーシャル安定度試験
マーシャル計算方法 — 空隙率	平均のみ : 空隙率の計算は平均値のみ行います。 供試体毎 : 空隙率の計算は供試体毎に行います。
コア厚さ小数	現場管理の「コア密度」に使用されます。「厚さ」の小数桁数を変更できます。 既定値は「1桁」です。 下記の2種類から選択します。 ・1桁 ・2桁
コア設計工種	現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。
コア設計厚	現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。また、管理図の規格値(コア密度厚さ)の計算に使用されます。
規格値コード	規格値マスタに登録してある内容が表示されます。 選択すると、登録してある規格値が読み込まれ、規格値タブが更新されます。

③ページ設定(下段)

※コア設計度は、管理図に表示される規格値の計算に利用されます。

※データが登録されている箇所は背景が緑色で表示されます。

行追加

使用するページ行を追加し、使用する報告書を決定します。必要な際に随時、設定します。

[操作の流れ]

1. 「+」「-」「行追加」ボタンを使用し、必要なだけ「ページ」行を作成します。
2. 日付欄を使用し、ページ行の解り易い目印を付けます。
3. 混合物欄から、混合物を選択します。
4. 必要な報告書にチェックを付けます。チェックの付いている報告書を入力できます。
5. ④混合物設定へ

[ページとは]

本システムにおける「ページ」は、特定日時の報告書のまとまりを指します。

1ページの中には、合成粒度、基準密度などの報告書をそれぞれ1枚ずつ入力できます。

上記の画面例では、「2022/05/18 AM」「2022/05/19 AM」といった1行が1ページとなり、6行のページが作成されています。

[ページ設定]

項目	説明
「日常管理データのコピー」ボタン	現場管理の報告書を作成する際に使用します。 別の日常管理ファイルから、対応する日常管理データをコピーする際に使用します。 使用方法の詳細は次項で説明します。
日付	ここに入力した日付は、チェックを付けた各報告書において、「試験日」欄の初期値として使用されます。 ※初期値として設定するタイミングは、基本設定のOKボタンを押した時点です。
行挿入 [+] 行削除 [-] 行追加 ボタン	[+]をクリックすると、クリックした行の上に新規ページ行を追加します。 [-]をクリックすると、クリックした行を削除します。 「行追加」ボタンをクリックすると、最終行に新規ページ行を追加します。
混合物	入力したい混合物を選択します。
チェック欄	入力したい試験にチェックします。 データが入力済みの場合、背景が緑色で表示されます。 選択できない試験は背景が灰色で表示されます。 ※チェックが外れている未使用欄でも、値が入力済であれば緑色で表示されます。

・④混合物設定

ページ設定 [混合物1] 混合物2 混合物3 混合物4 混合物5

混合物 SAM-02 再生密粒度アスファルト混合物(13)

粒度範囲	実施粒度	材料名	配合率
53 (mm)	~	1 38IN	22.0
37.5	~	2 28IN	12.0
31.5	~	3 18IN	13.0
26.5	~	4 石粉	3.0
19	100 ~ 100	5 再生骨材	50.0
13.2	95 ~ 100	6	
9.5	~	7	
4.75	55 ~ 70	8	
2.36	35 ~ 50		
1.18	~		
600 (μm)	18 ~ 30		
300	10 ~ 21		
150	6 ~ 16		
75	4 ~ 8		
合計			100.0

突固め回数 50 OAC安定度 10.70 アスファルト温度 155 ~ 158

実施アスファルト量 5.80 OACフロー値 27 混合温度 155 ~ 160

理論密度 2.429 アスファルト種類 再生アスファルト 60-80

OAC密度 2.340 アスファルト密度 1.031

規格値

管理項目	日常管理	自主管理値	管理項目	現場管理	自主管理値
合成粒度	粒度 2.36mm	設計値 +	コア密度試験	縮固め度 個々	~
	粒度 75μm	設計値 +		平均	~
基準密度試験	基準密度	設計値 +	厚さ	個々	設計値 +
		~		平均	~
アスファルト抽出試験	粒度 2.36mm	設計値 +	コア抽出試験	粒度 2.36mm	設計値 +
	粒度 75μm	設計値 +		粒度 75μm	設計値 +
		~	アス量	設計値 +	
	アス量	設計値 +	現場密度試験	縮固め度 個々	~
	~		平均	~	

OK キャンセル

混合物の内容や、規格値の設定を行います。

[操作の流れ]

- 画面上段左は混合物欄です。
混合物の粒度、配合率、アス量などを確認し、必要に応じて入力します。
- 画面上段右は温度規格値欄です。
日常管理と現場管理それぞれの規格値、自主管理値を入力します。
※未使用の場合は空欄のままにします。
- 画面下段は規格値欄です。
各試験で使用する規格値、自主管理値を必要に応じて入力します。
※未使用の場合は空欄のままにします。

[混合物設定]

項目	説明
粒度範囲・実施粒度	各試験で使用されます。
材料名	各々、混合物の情報を入力します。
突固め回数	
実施アスファルト量	
理論密度	
OAC密度	
OAC安定度	
OACフロー値	
アスファルト種類	
アスファルト密度	
アスファルト温度	範囲表示をしない場合、左側のみを入力します。
混合温度	
配合率	「合成粒度」に使用されます。 配合率は、ページを追加・作成した際の初期値として使用されます。 値を変更しても、既存データの配合率は変更されませんのでご注意ください。 ※初期値として設定するタイミングは、基本設定のOKボタンを押した時点です。
温度規格値 (画面上段右)	温度測定 of 規格値・自主管理値に利用されます。
規格値 (画面下段)	管理図 of 規格値・自主管理値に利用されます。

■ 現場管理ファイルに対し、日常管理データファイルの内容をコピーする

現場管理の報告書を作成する際、対応する日の日常管理の試験結果を利用したい場合があります。
この場合、「日常管理データのコピー」を使用する事により、簡単に日常管理データを揃える事ができます。

 **日常管理データのコピー** をクリックすると、画面が起動します。

日常管理データのコピー

他の品質管理データファイルから日常管理データをコピーします。

コピー元のデータの選択

分類: グループ 日常管理

No.	分類名	グループ名	データファイル
1	日常管理	00_日常管理 H99.4_1~H99.4_30	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
2	日常管理	00_日常管理 H99.4_1~H99.4_30	再生密粒度アスファルト混合物(13)
3	日常管理	00_日常管理 H99.5_1~H99.5_31	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
4	日常管理	00_日常管理 H99.5_1~H99.5_31	再生密粒度アスファルト混合物(13)
5	日常管理	00_日常管理 H99.6_1~H99.6_30	再生粗粒度アスファルト混合物(20)

コピーするページの選択

No.	日付	混合物	合成粒度	基準密度	抽出試験	近畿密度抽出	プラント温度
1	2022/05/01 AM	1 再生粗粒度アスファルト混合物(20)	☒	☒	☒	☐	☐
2	2022/05/02 AM	1 再生粗粒度アスファルト混合物(20)	☐	☐	☐	☐	☐
3	2022/05/03 PM	1 再生粗粒度アスファルト混合物(20)	☐	☐	☐	☐	☐
4	2022/05/04 AM	1 再生粗粒度アスファルト混合物(20)	☐	☐	☐	☐	☐
5	2022/05/05 AM	1 再生粗粒度アスファルト混合物(20)	☐	☐	☐	☐	☐
6	2022/05/05 PM	1 再生粗粒度アスファルト混合物(20)	☐	☐	☐	☐	☐
7	2022/05/06 AM	1 再生粗粒度アスファルト混合物(20)	☐	☐	☐	☐	☐
8	2022/05/07 AM	1 再生粗粒度アスファルト混合物(20)	☐	☐	☐	☐	☐
9	2022/05/08 AM	1 再生粗粒度アスファルト混合物(20)	☐	☐	☐	☐	☐
10	2022/05/09 AM	1 再生粗粒度アスファルト混合物(20)	☐	☐	☐	☐	☐
11	2022/05/11 AM	1 再生粗粒度アスファルト混合物(20)	☐	☐	☐	☐	☐

基準密度データのコピー方法の設定

☒ ページ単位 「ページ単位」の場合は、チェックしたページの内容をそのままコピーします。
☐ 先頭の4回 「先頭の4回」の場合は、チェックしたページの中から、データが存在する箇所の先頭4回分の試験結果を1ページに統合してコピーします。5回目以降のデータはコピーされません。

選択したページの挿入位置の設定

☒ 末尾に挿入 ☐ 先頭に挿入 ☐ 挿入位置を指定 8 行目に挿入

コピー先の混合物の選択

混合物: 1:再生粗粒度アスファルト混合物(20)

OK キャンセル

① 同一フォルダ内のファイル一覧です。読み込みたいファイルを選択します。

② ①で選択したファイルに含まれるページの一覧です。読み込みたい報告書にチェックを付けます。
※チェックが可能なものは、使用している報告書のみ

③ 基準密度データのコピー方法を設定します。既定値は「ページ単位」です。

④ コピーされたページの挿入位置を設定します。

⑤ ページのコピー先の混合物を選択します。

をクリックすると、設定した内容でページ設定欄が更新されます。

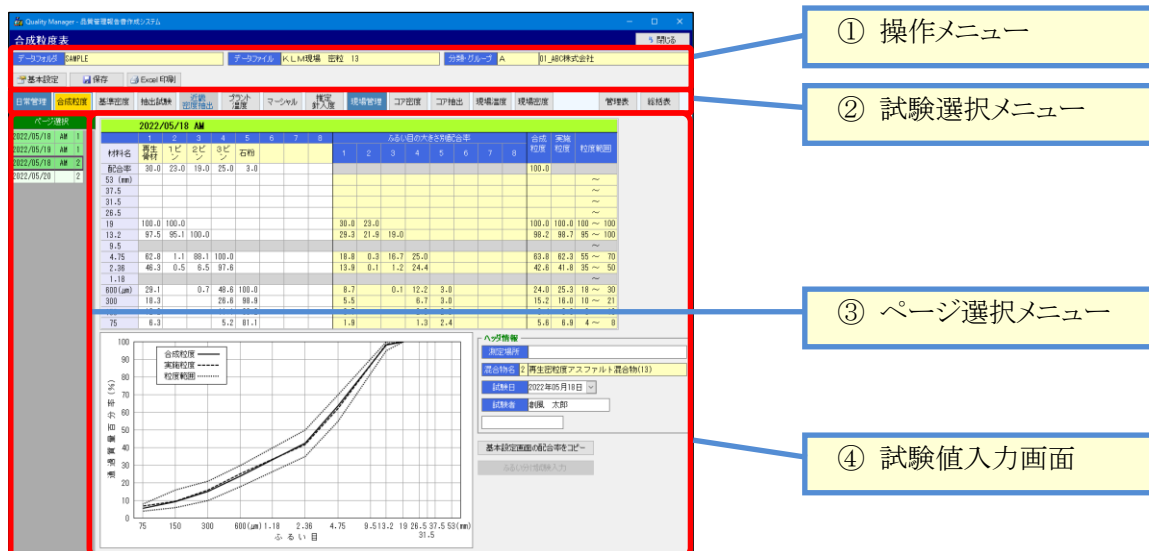
「分類」は、次の画面表示時も維持されます。

[注意]

現場管理データについてはコピーできません。
また、別フォルダのデータをコピーする事もできません。

品質管理データ編集画面の見かた、基本的な入力方法

品質管理データ編集画面は、試験結果データの入力や、報告書の印刷(Excel)を行うための画面です。画面は、4つに分かれて構成されています。



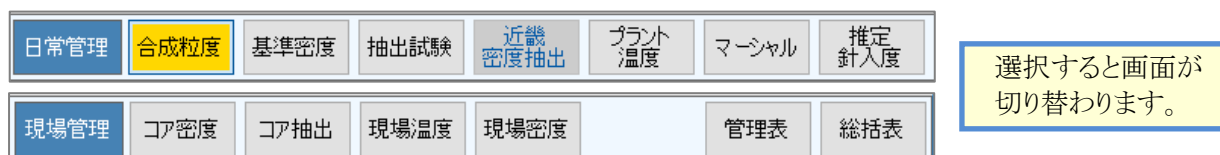
① 操作メニュー

データファイルに対して操作を行うためのメニューです。

項目	説明
データフォルダ データファイル 分類・グループ	現在編集しているデータが表示されます。
基本設定	クリックすると、基本設定画面を表示します。
保存	クリックすると、入力した試験データを保存します。 データファイル内の試験結果全ての最新内容を保存します。
Excel 印刷	クリックすると、試験結果データをExcelに印刷(出力)するための設定画面を表示します。

② 試験選択メニュー

試験結果を入力したい試験種類を選択します。ボタンをクリックすると、選択したボタンの背景がオレンジで表示され、試験値の入力画面が切り替わります。



項目	説明
日常管理	日常管理に関するメニューが表示されます。 ページ設定で1つもチェックが付いていない様式は選択できません。
現場管理	現場管理に関するメニューが表示されます。 ページ設定で1つもチェックが付いていない様式は選択できません。 「総括表」については、常に表示されます。

③ページ選択メニュー

ページを切り替えるためのメニューです。

各試験画面では1行に1ページが表示され、データ入力済みの欄が濃い緑色で表示されます。管理表(図)画面では混合物と試験項目のボタンが並び、現在選択中のページが緑色で表示されます。各ページ、または、ボタンをクリックすると、画面が選択した内容に切り替わります。編集した内容はページを切り替えても破棄されずに残ります。

ページ選択		
2022/05/18	AM	1
2022/05/19	AM	1
2022/05/18	AM	2
2022/05/20		2

各試験画面

ページ選択	混合物1	混合物2
合成粒度		
基準密度		
抽出試験		
コア密度		
コア抽出		
現場密度		

管理表(図)画面

④試験値入力画面

実際の試験結果を入力する為の画面です。

試験値を入力すると、試験項目の計算が行われます。また、グラフが自動的に描画されます。

背景が白色の欄は、試験結果の値を入力します。

背景が黄色の欄は、計算結果を自動的に出力します。他の画面を参照している項目もこの色です。

背景が灰色の欄は、基本的に入力に使用しません。

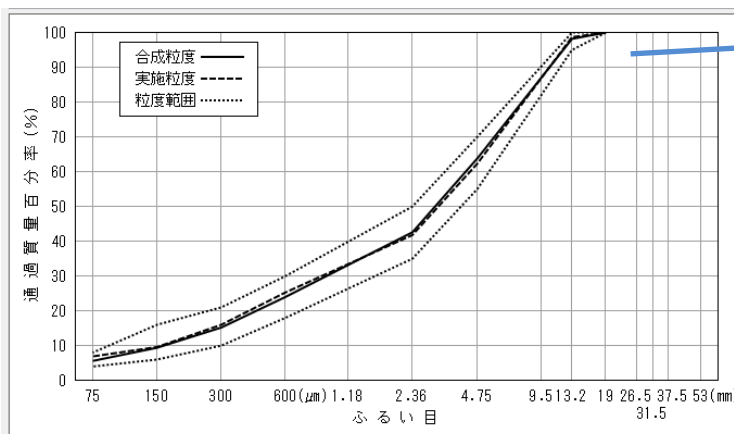
背景が緑色の欄は、入力欄の種類を表します。データが入力済を表す場合もこの色です。

選択しているページです。

試験の入力は、背景白色の欄に行います。

2022/05/18 AM												
材料名	再生骨材	1ピン	2ピン	3ピン	石粉							
配合率	30.0	23.0	19.0	25.0	3.0							
53 (mm)												
37.5												
31.5												
26.5												
19	100.0	100.0										
13.2	97.5	95.1	100.0									
9.5												
4.75	62.8	1.1	88.1	100.0								
2.36	46.3	0.5	6.5	97.6								
1.18												
600 (μm)	29.1		0.7	48.6	100.0							
300	18.3			26.6	98.9							
150	12.2			11.1	96.2							
75	6.3			5.2	81.1							

背景が黄色の欄は自動的に表示されます。



グラフ・図表は自動的に描画されます。

■ データ連動について

本システムでは、データファイル内において試験結果のデータ連動が行われます。
データ連動は、ある試験の計算結果を、関連する別の試験に自動設定される機能です。
またこの際、データの整合性を保つため、関連する試験結果の再計算が実行されます。
この機能は「基本設定」の一部に実装されています。

データ連動の画面間の影響は下表の通りです。

変更した画面	自動計算される画面
基本設定 [基準密度・抽出]欄変更	基準密度 / 抽出試験 / 近畿密度抽出 ・様式が変わるため、密度欄全体を再計算します。
基本設定 [密度計算方法]欄変更	基準密度 / 近畿密度抽出 / 切取コア密度 ・容積、密度が変わるため、密度欄全体を再計算します。
基本設定 [混合物コード]欄変更 [理論密度]欄変更	基準密度 / 近畿密度抽出 ・空隙率が変わるため、密度欄全体を再計算します。
基本設定 [コア厚さ小数]欄変更	切取コア密度 ・厚さが変わるため、密度欄全体を再計算します。
基本設定 ページ欄の[混合物]変更	基準密度 / 近畿密度抽出 / 切取コア密度 ・容積、密度、厚さが変わるため、密度欄全体を再計算します。

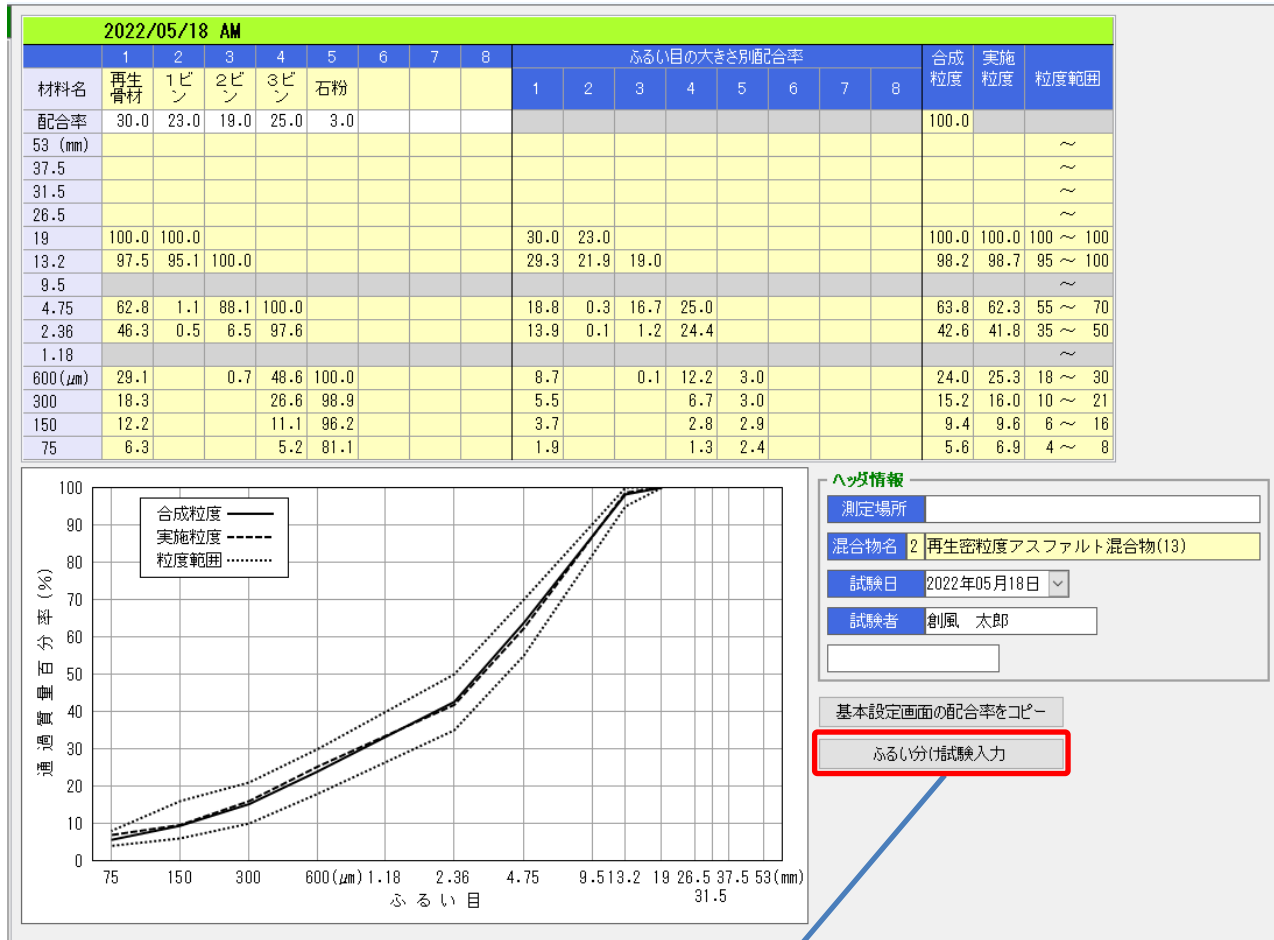
■ データの保存について

本システムでは、多くのページを使用します。
なんらかの理由でシステムが停止した際、入力したデータを損失しないよう、保存はこまめに行う事をおすすめ致します。

13. 各試験結果入力画面の詳細

■ 合成粒度試験

プラントの骨材粒度、配合率を入力します。



[ふるい分け試験入力画面]

ふるい分け試験入力

材料選択	1			2			平均
	残留試料	残留率	通過率	残留試料	残留率	通過率	
再生骨材							
1ピン	53 (mm)						
	37.5						
2ピン	31.5						
	28.5						
3ピン	19	0.0	0.0	100.0			100.0
	13.2	243.0	4.9	95.1			95.1
石粉	9.5						
	4.75	4919.9	98.9	1.1			1.1
	2.36	4950.0	99.5	0.5			0.5
	1.18						
	600 (μm)						
	300						
	150						
	75						
試料質量	4975.0						

OK キャンセル

① 材料選択で入力対象の材料に切り替えます。

② 試験値を入力します。

③ OK をクリックすると、各材料毎の粒度が合成粒度表に転送されます。

[特記事項]

項目	計算方法・入力内容など
材料名	基本設定で設定した材料名が表示されます。
配合率 骨材の粒度	値を入力すると、ふるい別配合率、合成粒度が計算されます。基本設定のふるい分け試験種別が「ホットビン」または「コールドビン」に設定してある場合は、「ふるい分け試験入力」画面で入力します。 基本設定の入力値は、ページの作成時にのみ自動設定される点にご注意ください。
ふるい別配合率 合成粒度	配合率と骨材の粒度から計算されます。 計算方法は、基本設定の「合成粒度計算種別」で設定した方法で計算します。
合計配合率	配合率の合計が表示されます。100.0%以外の場合、赤文字になります。
実施粒度	室内配合では、基本設定の値が表示されます。 現場配合では、室内配合の合成粒度が表示されます。
粒度範囲	基本設定の入力値が表示されます。
粒度曲線図	自動で作図されます。 粒度範囲が無い粒度は、点が打たれません。
「基本設定画面の 配合率をコピー」 ボタン	ボタンをクリックすると、基本設定画面に設定されている配合率を、現在表示しているページの配合率にセットします。 ふるい別配合率、合成粒度が自動計算されます。
「ふるい分け試験入力」 ボタン	基本設定のふるい分け試験種別が「ホットビン」または「コールドビン」に設定してある場合、使用可能になります。ボタンをクリックすると、「ふるい分け試験入力画面」が開きます。

■ 基準密度試験

4点の行が用意されます。

明細No単位で平均を取る事ができますので、日付単位に平均を計算する事ができます。

2022/05/18 AM											
No.	測定日	供試体番号	締固め温度	厚さ	直径	空中質量	水中質量	表乾質量	容積	密度	空隙率
1	2022年05月18日	1	148	6.26		1207.2	701.7	1208.2	506.5	2.383	1.9
		2	153	6.25		1207.1	701.7	1208.4	506.7	2.382	1.9
		3	146	6.39		1230.2	714.0	1232.1	518.1	2.374	2.3
		平均									
2	2022年05月18日	1	146	6.37		1228.8	712.7	1230.2	517.5	2.374	2.3
		2	146	6.33		1221.7	710.2	1223.4	513.2	2.381	2.0
		3	148	6.38		1227.6	712.6	1228.8	516.2	2.378	2.1
		平均									
3	2022年05月19日	1	152	6.21		1196.0	694.0	1197.5	503.5	2.375	2.2
		2	149	6.32		1218.2	708.1	1219.5	511.4	2.382	1.9
		3	148	6.38		1227.6	712.6	1228.8	516.2	2.378	2.1
		平均									
4	2022年05月19日	1	151	6.40		1229.8	713.0	1230.8	517.8	2.375	2.2
		2	150	6.21		1194.1	693.1	1195.6	502.5	2.376	2.2
		3	151	6.24		1201.7	697.5	1203.4	505.9	2.375	2.2
		平均									
基準密度										2.378	2.1

ヘッダ情報

測定場所

混合物名 2 再生密粒度アスファルト混合物(13)

試験日 2022年05月18日

試験者 創風 太郎

理論密度 2.429

突固め回数 50

密度計算方法 かさ

備考

[特記事項]

項目	計算方法・入力内容など
測定日 締固め温度 厚さ・直径・質量	それぞれ試験結果を入力します。
容積・密度 空隙率	自動的に計算されます。
計算チェック	供試体欄の平均を取りたい場合にチェックを付けます。 この欄のチェック有無により、基準密度の算出方法が変わります。
平均	「計算チェック」が付いている場合のみ、供試体の平均が計算されます。 計算の対象は下記の通りです。 ・計算チェックが付いているNo欄自体 ・計算チェックが付いている欄より上にあり、かつ、計算チェックが付いていない欄 ・既に平均計算対象となっている欄は除く
基準密度	「計算チェック」が1つ以上ある場合 → ※平均欄の平均 チェックが付いている「平均欄の値」の平均が計算されます。 「計算チェック」が1つも無い場合 → ※供試体の平均 入力されている「供試体欄全て」の平均です。
理論密度 突固め回数 密度計算方法	基本設定の入力値が表示されます。 この欄に表示されている密度計算方法を使用します。
備考	改行は[Ctrl + Enter]で行います

[平均の取り方]

上の画面例では、No.2の行と、No.4の行に「計算チェック」が付いています。

この場合、No.2の平均欄は、①の範囲で供試体欄の平均が計算されています。

同様に、No.4の平均欄は、②の範囲で供試体欄の平均が計算されています。

また、計算チェックがあるため、③=(①の平均+②の平均)÷2 の結果となります。(※平均の平均)

■ アスファルト抽出試験

抽出試験の結果を入力します。最大で3供試体の値を入力できます。

2022/05/18 AM												
	1			2			3			平均	実施	粒度範囲
	残留試料	残留率	通過率	残留試料	残留率	通過率	残留試料	残留率	通過率	通過率	粒度	
53 (mm)												~
37.5												~
31.5												~
26.5												~
19	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100 ~ 100
13.2	27.0	2.7	97.3	27.4	2.7	97.3	23.5	2.3	97.7	97.4	98.7	95 ~ 100
9.5												~
4.75	354.6	35.2	64.8	359.5	35.5	64.5	353.0	35.0	65.0	64.8	62.3	55 ~ 70
2.36	574.9	57.1	42.9	576.7	57.0	43.0	569.2	56.5	43.5	43.1	41.8	35 ~ 50
1.18												~
600 (μm)	770.1	76.5	23.5	774.4	76.5	23.5	773.1	76.7	23.3	23.4	25.3	18 ~ 30
300	866.3	86.0	14.0	867.4	85.7	14.3	864.2	85.7	14.3	14.2	16.0	10 ~ 21
150	903.7	89.7	10.3	904.2	89.3	10.7	901.2	89.4	10.6	10.5	9.8	6 ~ 16
75	954.9	94.8	5.2	961.9	95.0	5.0	953.2	94.6	5.4	5.2	6.9	4 ~ 8

	1	2	3
① (試料 + ろ紙) 質量	1110.1	1114.3	1109.9
② ろ紙 質量	37.9	38.0	37.8
③ 試料 質量	1072.2	1076.3	1072.1
④ (抽出後試料 + ろ紙) 質量	1045.2	1050.5	1045.8
⑤ 抽出骨材 質量	1007.3	1012.5	1008.0
⑥ アスファルト 質量	64.9	63.8	64.1
⑦ 抽出アスファルト量	6.05	5.93	5.98
平均 値	5.99		
実施アスファルト量	5.80		

[特記事項]

画面項目	計算方法・入力方法などの説明
抽出試験方法	基本設定の入力値が表示されます。
試料質量	「(試料+〇〇)質量」「〇〇質量」から自動的に計算されます。 どちらかの値が入力されていない場合、手入力する事ができます。
抽出骨材質量	「〇〇質量」「(抽出後試料+〇〇)質量」から自動的に計算されます。 どちらかの値が入力されていない場合、手入力する事ができます。
実施粒度 粒度範囲 実施アスファルト量	基本設定の入力値が表示されます。
粒度曲線図	自動で作図されます。

■ プラント日常管理試験成績書 (近畿様式)

基本設定で「基準密度・抽出」を近畿様式に設定すると使用可能になります。
内容は基準密度試験、抽出試験と同等です。

2022/05/18 AM

基準密度の測定

No.	供試体番号	厚さ	直径	空中質量	水中質量	表乾質量	容積	密度	
1	○空	1	6.26		1207.2	701.7	1208.2	506.5	2.383
	●AM	2	6.25		1207.1	701.7	1208.4	506.7	2.382
	○PM	3	6.39		1230.2	714.0	1232.1	518.1	2.374
2	○空	1	6.37		1228.8	712.7	1230.2	517.5	2.374
	○AM	2	6.33		1221.7	710.2	1223.4	513.2	2.381
	●PM	3	6.38		1227.6	712.6	1228.8	516.2	2.378
平均(基準密度)								2.379	

ヘッダ情報

混合物名 2 再生密粒度アスファルト混合物(13)

試験日 2022年05月18日

密度計算方法 かさ

アスファルト抽出結果

試料の乾燥質量	a	1072.4
抽出後の試料質量	b	1008.7
アスファルト質量	c=a-b	63.7
アスファルト混合率	c/a×100	5.94
配合設計のアスファルト量		5.80

抽出後の粒度

	残留試料	残留率	通過率	配合設計決定粒度	粒度範囲
53 (mm)					~
37.5					~
31.5					~
26.5					~
19	0.0	0.0	100.0	100.0	100 ~ 100
13.2	27.0	2.7	97.3	98.7	95 ~ 100
9.5					~
4.75	354.6	35.2	64.8	62.3	55 ~ 70
2.36	574.9	57.0	43.0	41.8	35 ~ 50
1.18					~
600 (μm)	770.1	76.3	23.7	25.3	18 ~ 30
300	866.3	85.9	14.1	16.0	10 ~ 21
150	903.7	89.6	10.4	9.6	6 ~ 16
75	954.9	94.7	5.3	6.9	4 ~ 8

摘要

[特記事項]

項目	計算方法・入力内容など
密度計算方法	基本設定の入力値が表示されます。
平均(基準密度)	入力されている全ての供試体欄の平均です。
粒度範囲	基本設定の入力値が表示されます。
配合設計のアスファルト量	基本設定の「実施アスファルト量」が表示されます。
配合設計決定粒度	基本設定の「実施粒度」が表示されます。

■ プラント温度測定

プラントの温度測定結果を入力します。

複数日付のデータを入力する事もできます。また、夜間出荷の場合は時刻を24時、25時…として入力することもできます。

2022/05/18 AM						
No.	測定日	時間	台数	アスファルト	骨材	混合物
1	2022年06月01日	8:12		155	174	164
2	2022年06月01日	8:25		154	175	165
3	2022年06月01日	8:34		153	176	163
4	2022年06月01日	8:41		155	173	162
5	2022年06月01日	8:52		156	175	167
6	2022年06月01日	9:00		157	176	166
7	2022年06月01日	9:11		155	177	165
8	2022年06月01日	9:23		154	175	166
9	2022年06月01日	9:31		156	174	164
10	年 月 日	:				
11	2022年06月02日	23:02		155	173	165
12	2022年06月02日	23:10		156	176	166
13	2022年06月02日	23:24		154	174	164
14	2022年06月02日	23:38		153	175	165
15	2022年06月02日	23:49		155	174	165
16	2022年06月02日	23:58		156	175	165
17	2022年06月02日	24:00		155	174	166
18	2022年06月02日	24:08		156	175	167
19	2022年06月02日	24:18		154	176	168
20	2022年06月02日	24:28		153	175	165
21	2022年06月02日	24:35		155	174	166
22	2022年06月02日	24:42		155	176	167
23	年 月 日	:				
24	年 月 日	:				
測定数				21	21	21
平均値				155	175	165
最大値				157	177	168
最小値				153	173	162
規格値				—	—	—
自主管理値				150~160	165~185	155~175

温度管理図 (°C)

グラフ目盛
原点 130
間隔 10

● アスファルト
○ 骨材
▲ 混合物

ヘッダ情報
測定場所
混合物名 2 再生密粒度アスファルト混合物(13)
試験日 2022年06月01日
試験者 創風 太郎

[特記事項]

項目	計算方法・入力内容など
温度項目の見出	環境設定で入力した項目名が使用されます。 上の画面では、「アスファルト」「骨材」「混合物」と表示されています。
時間/台数	基本設定で選択した様式の背景が白色になります。
グラフ目盛	グラフの原点、間隔を入力すると、グラフの描画範囲を変更する事ができます。
測定数・平均値 最大値・最小値	この画面の入力値から、それぞれの値が表示されます。
規格値 自主管理値	基本設定の入力値が表示されます。

[行挿入／行削除の仕方]

13	2022年06月02日	23:24		154
14	2022年06月02日	23:38		153
15	2022年06月02日	23:49		155
行挿入	2022年06月02日	23:58		156
行削除	2022年06月02日	24:00		155
18	2022年06月02日	24:08		156

行挿入または行削除をする場合は、
対象行の行No.の部分をクリックします。

例: 15行目に挿入(または削除)を行う場合は
「15」の上をクリックします。

※行挿入を行うと、末尾のデータが削除されますので
ご注意ください。

■ マーシャル安定度試験

マーシャル安定度試験の結果を入力します。

ヘッダ情報																		
測定場所											アスファルト温度	155	～		アスファルト種類	再生アスファルト 60-80		
混合物名	2 再生密粒度アスファルト混合物(13)										骨材温度	175	～		アスファルト密度	1.031		
試験日	2022年05月20日										混合温度	153	～		力計の係数	0.15		
試験者	創風 太郎										突固め温度	140	～					
											突固め回数	50						

2022/05/20																		
供試体番号	アスファルト量	厚さ	直径	空中質量	水中質量	表乾質量	容積	密度	理論密度	アスファルト容積率	空隙率	骨材間隙率	飽和度	力計の読み	安定度	フロー値	S/F	残留安定度
1	標準	6.30	10.16	1188.1	679.0	1189.5	510.5	2.327							5.67	33		
2	5.80	6.35	10.16	1190.9	677.3	1191.9	514.6	2.314							5.62	30		
3		6.29	10.16	1187.2	678.5	1188.2	509.7	2.329							5.88	32		
平均								2.323	2.429	13.1	4.4	17.5	74.9		5.72	32	1788	
1	水浸	6.39	10.16	1199.8	683.3	1201.1	517.8	2.317							5.52	30		
2	5.80	6.35	10.16	1187.8	674.2	1188.8	514.6	2.308							5.91	30		
3		6.43	10.16	1203.8	683.6	1204.6	521.0	2.311							5.65	32		
平均								2.312	2.429	13.0	4.8	17.8	73.0		5.69	31	1835	99.5

備考

[特記事項]

項目	計算方法・入力内容など
ヘッダ情報	「アスファルト種類」「アスファルト密度」「突固め回数」は基本設定の値が入力されます。 「試験者名」「力計の計数」は既定値設定で設定した値が入ります。
アスファルト量	基本設定の「実施アスファルト量」が表示されます。
厚さ・直径・質量	厚さ、直径、質量を入力します。
容積・密度	自動的に計算されます。
理論密度	基本設定の理論密度が表示されます。
アスファルト容積率	自動的に計算されます。
空隙率	基本設定の「空隙率計算方法」により、平均のみか、供試体毎が表示されます。
骨材間隙率	自動的に計算されます。
飽和度	
力計の読み	「力計の読み」を入力します。
安定度	「力計の係数×力計の読み」の計算結果を表示します。 「力計の読み」が入力されていない場合、直接入力する事ができます。
フロー値	フロー値を入力します。
残留安定度	水浸の場合のみ計算されます。 「標準の安定度」と「水浸の安定度」が入力されている場合、自動計算します。

■ 再生骨材のアスファルト針入度推定試験

推定針入度試験の結果を入力します。

ヘッダ情報										
測定場所					突固め温度	140	～	146		
混合物名	1 再生骨材				突固め回数	50				
試験日	2022年06月16日				最大密度	2.590				
試験者	創風 花子				力計の係数					
					密度計算方法	見掛				
2022/06/16										
供試体番号	空中質量	水中質量	表乾質量	容積	密度	選定した密度	空隙率	力計の読み	安定度	推定針入度
1	1192.4	679.3		513.1	2.324	☒	2.324	10.3	9.8	
2	1196.9	681.8		515.1	2.324	☒	2.324	10.3	9.9	
3	1183.0	673.2		509.8	2.321	☐				
4	1190.0	679.3		510.7	2.330	☐				
5	1203.7	686.2		517.5	2.326	☒	2.326	10.2	9.9	
平均							2.325	10.3	9.8	27
備考										

[特記事項]

項目	計算方法・入力内容など
ヘッダ情報	「突固め温度」「最大密度」を入力します。 「突固め回数」は基本設定の値が入力されます。 「試験者名」「力計の計数」「密度計算方法」は既定値設定で設定した値が入ります。
空中質量 水中質量 表乾質量	それぞれの質量を入力します。
容積・密度	自動的に計算されます。
選定した密度	密度測定した5つの供試体のうち、最大と最小を除いた残りの3つが自動で選択されます。
力計の読み	「力計の読み」を入力します。
安定度	「力計の係数×力計の読み」の計算結果を表示します。 「力計の読み」が入力されていない場合、直接入力する事ができます。
推定針入度	自動的に計算されます。

■ 切取コア密度試験

切取コア密度試験の試験結果を入力します。コアラベルの印刷もここから行う事ができます。
基本設定から、標準様式/栃木様式/東北様式/中部様式 を切り替える事ができます。様式に不要な欄は背景が灰色になります。

[標準様式] [栃木様式] [東北様式]

コアラベル印刷

ヘッダ情報

測定場所	県道00線	設計舗装工種	表層工
混合物名	2 再生密粒度アスファルト混合物(13)	設計舗装厚	5.0
試験日	2022年05月20日	基準密度	2.380
試験者	創風 太郎	理論密度	2.429
		密度計算方法	かさ

2022/05/20															
No.	試験日	測 点	厚 さ					直 径	空 中 重 量	水 中 重 量	表 乾 重 量	容 積	密 度	締 固 め 度	摘要
			1	2	3	4	平均								
1	/ /	No1 (1工区)	6.4	6.4	6.3	6.4	6.4		1227.6	710.4	1229.3	518.9	2.366	99.4	
2	/ /	No2 (2工区)	6.3	6.3	6.4	6.4	6.4		1229.7	712.4	1231.3	518.9	2.370	99.6	
3	/ /	No3 (3工区)	6.3	6.3	6.2	6.3	6.3		1191.3	681.0	1191.3	510.3	2.335	98.1	
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11	/ /														
12	/ /														
13	/ /														
14	/ /														
15	/ /														
16	/ /														
17	/ /														
18	/ /														
19	/ /														
20	/ /														
			計算→ 平 均					6.4					2.357	99.0	

備考

[特記事項]

項目	計算方法・入力内容など
コアラベル印刷	コアラベル印刷の画面を起動します。 コアラベル印刷画面の使用方法は、次項で説明します。
設計舗装工種	基本設定のコア設計工種が表示されます。
設計舗装厚	基本設定のコア設計厚が表示されます。
基準密度	基本設定のOAC密度が既定値として表示されます。
理論密度	締固め度を計算するには、基準密度が入力されている必要があります。
密度計算方法	基本設定の入力値が表示されます。
厚さ 1~4 厚さ平均	厚さ1~4が未入力の場合、厚さ平均を直接入力できます。 小数桁数は、基本設定で設定した「コア厚さ小数」の桁数になります。 厚さ平均の端数処理は環境設定画面の設定値によります。なお、平均行の厚さも同様の端数処理が適用されます。
計算チェック	画面に表示されている供試体の平均値を計算したい場合、チェックを付けます。 厚さ平均、密度、締固め度の平均が計算されます。
備考	[Ctrl + Enter]で改行できます。

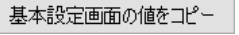
2022/05/20																
No.	記号	測 点	厚 さ					直 径	空 中 質 量	水 中 質 量	表 乾 質 量	容 積	密 度	締 固 め 度		全 厚
			1	2	3	4	平均							基 準 密 度	理 論 密 度	
1	No.1 (1工区)		6.4	6.4	6.3	6.4	6.4	1227.6	710.4	1229.3	518.9	2.366	99.4	97.4	6.4	
2	No.2 (2工区)		6.3	6.3	6.4	6.4	6.4	1229.7	712.4	1231.3	518.9	2.370	99.6	97.6	6.4	
3	No.3 (3工区)		6.3	6.3	6.2	6.3	6.3	1191.3	681.0	1191.3	510.3	2.335	98.1	96.1	6.3	
〔様式 38-1〕 入力画面 ハツタ情報 混合物名 2 再生密粒度アスファルト混合物(13) 工種名 試験者 創風 太郎 切取日 年 月 日 試験日 2022年05月20日 設計舗装工種 表層工 設計舗装厚 5.0 基準密度 2.380 理論密度 2.429 密度計算方法 かさ 設計舗装厚 表層 5.0 基層 上層 全厚 5.0																
☒ 計算→			平	均	6.4								2.357	99.0	97.0	6.4

備考

項目	計算方法・入力内容など
 コアラベル印刷	コアラベル印刷の画面を起動します。 コアラベル印刷画面の使用方法は、次項で説明します。
様式 38-1 画面	様式 38-1 の入力画面を起動します。 入力した内容が様式38-1の帳票に出力されます。
設計舗装工種	基本設定のコア設計工種が表示されます。
設計舗装厚	基本設定のコア設計厚が表示されます。
基準密度	基本設定のOAC密度が既定値として表示されます。 締固め度を計算するには、基準密度が入力されている必要があります。
設計舗装厚 (表層～全厚)	試験に必要な値を入力します。
理論密度 密度計算方法	基本設定の入力値が表示されます。
厚さ 1～4 厚さ平均	厚さ1～4が未入力の場合、厚さ平均を直接入力できます。 小数桁数は、基本設定で設定した「コア厚さ小数」の桁数になります。 厚さ平均の端数処理は環境設定画面の設定値によります。なお、平均行の厚さも同様の端数処理が適用されます。
全厚	厚さの平均が代入されます。 全厚(背景オレンジの欄)は手入力で変更する事ができます。ただし、基本設定や厚さを修正すると再計算されるため、再度設定し直す必要があります。
計算チェック	画面に表示されている供試体の平均値を計算したい場合、チェックを付けます。 厚さ平均、密度、締固め度、全厚の平均が計算されます。
備考	[Ctrl + Enter]で改行できます。

■ コアラベル印刷

この画面は、切取コア密度試験の画面から  をクリックする事で起動します。
入力済みの試験結果から設定、または、直接入力して内容を作成する事が出来ます。

ヘッダ情報は、  をクリックすると、以下の情報が読み込まれます。

「工事名」「施工者」 … 基本設定画面の情報が読み込まれます。

「測定場所」「試験日」 … 現在のコア密度試験のヘッダ情報が読み込まれます。

 ボタンをクリックすると、入力した内容がExcelに出力されます。



コアラベル印刷を行うデータの設定

工種	参照	工種名	混合物名	設計厚	コア厚と小数
工種 1	参照	表層工	密粒度アスコン (13)	6.3	1桁
工種 2	参照	表層工	粗粒度アスコン (20)	6.3	1桁
工種 3	参照	路盤	再生アスファルト安定処理	6.3	1桁
合計				18.9	

※現在表示中のコア密度試験結果を読み込むには「参照」ボタンをクリックします。
※他のデータのコア密度試験結果を読み込むには「参照」ボタンをクリックします。

印刷するコアの選択

No.	印刷	供試体No.	測点	厚さ	平均	密度	締固め度			
1	☒	1	工種 1 No.L001	6.4	6.3	6.4	6.3	6.4	2.329	99.8
			工種 2 No.L001	6.4	6.4	6.4	6.3	6.4	2.329	99.8
			工種 3 No.L001	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	2.329	99.8
			合計	19.2	19.1	19.2	19.0	19.2		
2	☒	2	工種 1 No.L002	6.4	6.3	6.3	6.3	6.3	2.280	97.7
			工種 2 No.L002	6.4	6.4	6.4	6.2	6.4	2.280	97.7
			工種 3 No.L002	6.4	6.3	6.4	6.4	6.4	2.280	97.7
			合計	19.2	19.0	19.1	18.9	19.1		
3	☒	3	工種 1 No.L003	6.4	6.3	6.3	6.3	6.3	2.306	98.8
			工種 2 No.L003	6.2	6.4	6.3	6.3	6.3	2.306	98.8
			工種 3 No.L003	6.3	6.3	6.4	6.4	6.4	2.306	98.8
			合計	18.9	19.0	19.0	19.0	19.0		
4	☐	4	工種 1							
			工種 2							
			工種 3							
			合計							
5	☐	5	工種 1							
			工種 2							
			工種 3							
			合計							
6	☐	6	工種 1							
			工種 2							
			工種 3							
			合計							

ヘッダ情報

工事名: 県道00線 補修工事
測定場所: 県道00線
施工者: 特創風道路
試験日: 2022年05月20日

基本設定画面の値をコピー

Excel出力

☒ コアラベルの枠線を印刷する

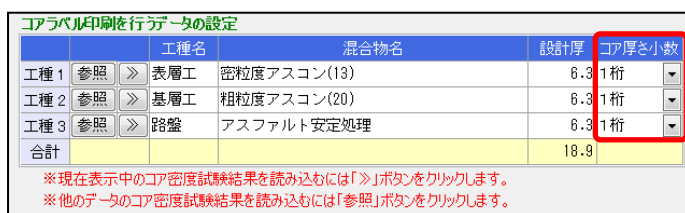
印刷対象項目: ☐ 密度 ☒ 締固め度

印刷開始位置: ① ② ③ ④ ⑤ ⑥

Excel出力

OK キャンセル

・①混合物の選択



コアラベル印刷を行うデータの設定

工種	参照	工種名	混合物名	設計厚	コア厚と小数
工種 1	参照	表層工	密粒度アスコン(13)	6.3	1桁
工種 2	参照	表層工	粗粒度アスコン(20)	6.3	1桁
工種 3	参照	路盤	アスファルト安定処理	6.3	1桁
合計				18.9	

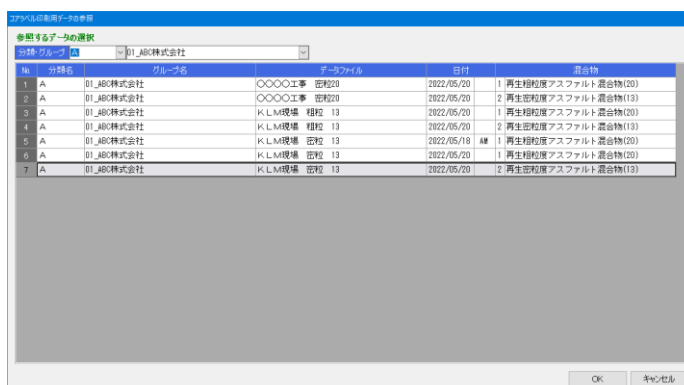
※現在表示中のコア密度試験結果を読み込むには「参照」ボタンをクリックします。
※他のデータのコア密度試験結果を読み込むには「参照」ボタンをクリックします。

「印刷するコアの選択」欄の厚さ小数桁数を変更できます。平均値の小数桁数は、より大きい桁数になります。

 をクリックすると、現在編集中のページ内容を設定します。

 をクリックすると、読み込み対象ページを選択する画面が起動します。(右参照)
読み込みたいページを選択すると、その行に当該ページの内容が設定されます。

参照をクリックした際、現在編集中のページが選択された状態で画面が起動します。



参照するデータの選択

No.	グループ	グループ名	データファイル	日付	混合物
1	A	01_000株式会社	00000工事 密粒20	2022/05/20	1 再生粗粒度アスファルト混合物(20)
2	A	01_000株式会社	00000工事 密粒20	2022/05/20	2 再生粗粒度アスファルト混合物(13)
3	A	01_000株式会社	K.L.M現場 粗粒 13	2022/05/20	1 再生粗粒度アスファルト混合物(20)
4	A	01_000株式会社	K.L.M現場 粗粒 13	2022/05/20	2 再生粗粒度アスファルト混合物(13)
5	A	01_000株式会社	K.L.M現場 密粒 13	2022/05/18 AM	1 再生粗粒度アスファルト混合物(20)
6	A	01_000株式会社	K.L.M現場 密粒 13	2022/05/20	1 再生粗粒度アスファルト混合物(20)
7	A	01_000株式会社	K.L.M現場 密粒 13	2022/05/20	2 再生粗粒度アスファルト混合物(13)

OK キャンセル

②コアの選択

印刷するコアの選択

No.	印刷	供試体No.	測点	厚さ					密度	締固め度
				1	2	3	4	平均		
1	☒	1	工種 1 No.L001	6.4	6.3	6.4	6.3	6.4	2.329	99.8
			工種 2 No.L001	6.4	6.4	6.4	6.3	6.4	2.329	99.8
			工種 3 No.L001	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	2.329	99.8
			合計	19.2	19.1	19.2	19.0	19.2		

チェックした箇所のみ出力対象となります。

灰色の欄は出力されません。

①で選択した小数桁数です。

③印刷設定

Excel 出力

☒ コアラベルの枠線を印刷する

印刷対象項目 ☒ 密度 ☐ 締固め度

印刷開始位置
① ②
③ ④
⑤ ⑥

Excel 出力

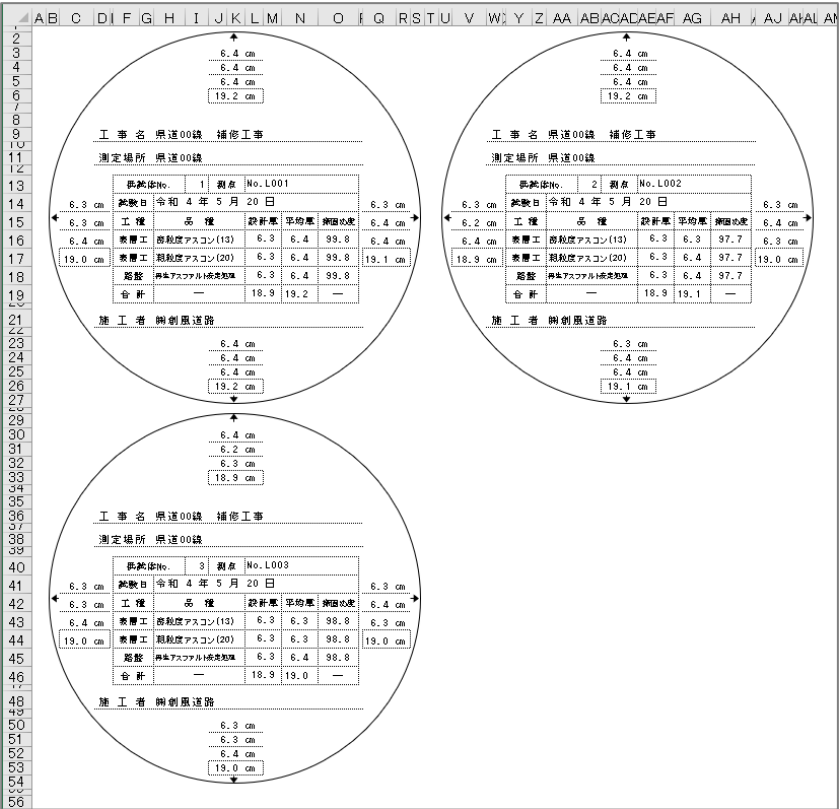
コアラベルの円形の枠線が不要な場合、チェックを外します。

密度または締固め度のどちらを印刷するかを選択します。

コアラベルの出力開始位置を指定します。指定した位置から、数値順にコアラベルが出力されます。
例として、③を指定すると、③→④→⑤… と出力されます。

コアラベルの枠線チェックと印刷対象項目は、設定内容が次回画面表示時も維持されます。

出力結果(Excel)



切取コア抽出試験

切取コア抽出試験の試験結果を入力します。
使用方法はプラント抽出試験と同一です。

2022/05/18 AM

	1			2			3			平均	実施	粒度範囲
	残留試料	残留率	通過率	残留試料	残留率	通過率	残留試料	残留率	通過率	通過率	粒度	
53 (mm)												~
37.5												~
31.5												~
26.5												~
19	0.0	0.0	100.0							100.0	100.0	100 ~ 100
13.2	28.4	2.8	97.2							97.2	98.7	95 ~ 100
9.5												~
4.75	356.4	35.3	64.7							64.7	62.3	55 ~ 70
2.36	571.4	56.6	43.4							43.4	41.8	35 ~ 50
1.18												~
600 (μm)	760.0	75.2	24.8							24.8	25.3	18 ~ 30
300	350	84.1	15.9							15.9	16.0	10 ~ 21
150	904.8	89.6	10.4							10.4	9.6	6 ~ 16
75	951.0	94.1	5.9							5.9	6.9	4 ~ 8

ヘッド情報

測定場所 県道00線

混合物名 2 再生密粒度アスファルト混合物(13)

試験日 2022年05月20日

試験者 創風 太郎

測点

抽出試験方法 ソックスレー法

	1	2	3
① (試料 + ろ紙) 質量	1113.5		
② ろ紙 質量	37.9		
③ 試料 質量	1075.6		
④ (抽出後試料 + ろ紙) 質量	1048.1		
⑤ 抽出骨材 質量	1010.2		
⑥ アスファルト 質量	65.4		
⑦ 抽出アスファルト 量	6.08		
平均 値		6.08	
実施アスファルト 量		5.80	

[特記事項]

画面項目	計算方法・入力方法などの説明
抽出試験方法	基本設定の入力値が表示されます。
試料質量	「(試料+〇〇)質量」「〇〇質量」から自動的に計算されます。 どちらかの値が入力されていない場合、手入力する事ができます。
抽出骨材質量	「〇〇質量」「(抽出後試料+〇〇)質量」から自動的に計算されます。 どちらかの値が入力されていない場合、手入力する事ができます。
実施粒度 粒度範囲 実施アスファルト量	基本設定の入力値が表示されます。
粒度曲線図	自動で作図されます。

■ 現場温度測定

現場の温度測定結果を入力します。使用方法是プラント温度測定と同じです。

複数日付のデータを入力する事もできます。また、夜間出荷の場合は、時刻を24時、25時…として入力することもできます。

2022/05/18 AM							
No.	測定日	時間	台数	出荷温度	到着温度	数均温度	初転温度
1	2022年06月01日	:	1台目	164	161	158	148
2	2022年06月01日	:	2台目	165	162	157	149
3	2022年06月01日	:	3台目	166	163	158	147
4	2022年06月01日	:	4台目	165	162	158	147
5	2022年06月01日	:	5台目	165	162	157	146
6	2022年06月01日	:	6台目	164	161	157	148
7	2022年06月01日	:	7台目	166	162	159	149
8	年 月 日	:					
9	年 月 日	:					
10	年 月 日	:					
11	年 月 日	:					
12	年 月 日	:					
13	年 月 日	:					
14	年 月 日	:					
15	年 月 日	:					
16	年 月 日	:					
17	年 月 日	:					
18	年 月 日	:					
19	年 月 日	:					
20	年 月 日	:					
21	年 月 日	:					
22	年 月 日	:					
23	年 月 日	:					
24	年 月 日	:					

測 定 数	7	7	7	7
平 均 値	165	162	158	148
最 大 値	166	163	159	149
最 小 値	164	161	157	146
規 格 値	—	—	—	—
自 主 管 理 値	155~175	155~165	150~160	140~150

温度管理図 (°C)

グラフ目盛

原点 100

間隔 10

● 出荷温度

○ 到着温度

▲ 数均温度

△ 初転温度

— 初転下限

ヘッダ情報

測定場所 県道00線

混合物名 2 再生密粒度アスファルト混合物(13)

試験日 2022年06月01日

試験者 創風 太郎

[特記事項]

項目	計算方法・入力内容など
温度項目の見出	環境設定で入力した項目名が使用されます。 上の画面では、「出荷温度」「到着温度」「数均温度」「初転温度」と表示されています。
時間/台数	基本設定で選択した様式の背景が白色になります。
グラフ目盛	グラフの原点、間隔を入力すると、グラフの描画範囲を変更する事ができます。
測定数・平均値 最大値・最小値	この画面の入力値から、それぞれの値が表示されます。
規格値 自主管理値	基本設定の入力値が表示されます。

■ 現場密度試験

砂置換法による路盤の密度試験結果を入力します。
 入力の補助として路盤締固めマスタを使用する事ができます。

2022/05/18 AM			
	1	2	3
路盤締固めマスタコード	R01		
路盤締固めマスタ名称	路盤 1		
試料番号	1		
① 試験前(砂+容器)質量	4002.7		
② 試験後(砂+容器)質量	855.4		
③ ベースプレート中の砂の質量	1441.9		
④ 穴につめた砂の質量	1705.4		
⑤ 砂の単位体積質量	1.360		
⑥ 穴の容積	1254.0		
⑦ (湿潤土+容器)質量	3131.0		
⑧ の容器質量	50.2		
⑨ 湿潤土質量	3080.8		
⑩ 湿潤密度	2.457		
⑪ (乾燥土+容器)質量	3001.3		
⑫ の容器質量	50.2		
⑬ 乾燥土質量	2951.1		
⑭ 乾燥密度	2.353		
⑮ 水の質量	129.7		
⑯ 含水比	4.39		
⑰ 最大乾燥密度	2.475		
⑱ 締固め度	95.1		
平均値	☐ 計算→		
穴の直径	10.3		
穴の深さ	14.5		

ハダ情報

測定場所

路盤種類

試験日

試験者

測点

1 列目

2 列目

3 列目

備考

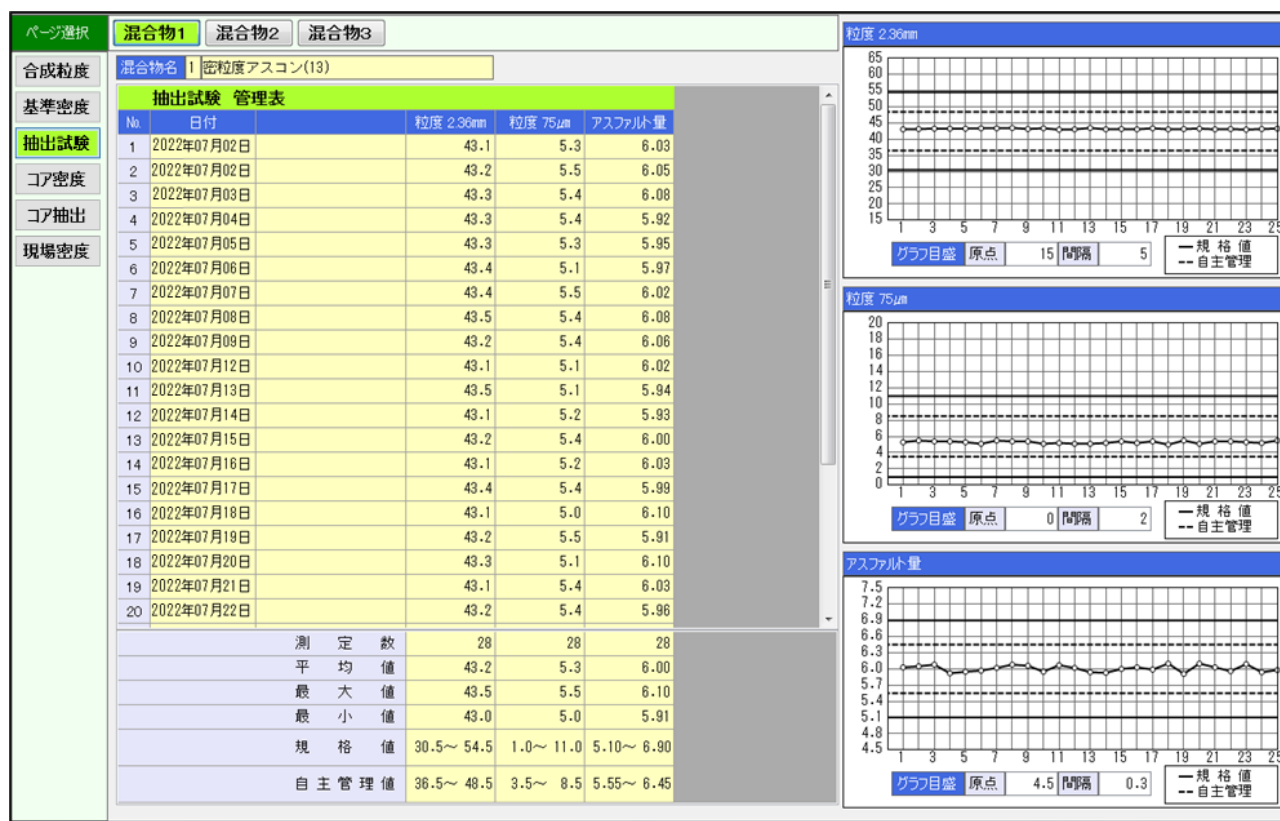
[特記事項]

項目	計算方法・入力内容など
測点	1列目が試験結果入力欄の1列目に対応します。2、3列目も同様です。
路盤締固めマスタコード	路盤締固めマスタを使用する場合、利用するマスタを選択します。 「試験前(砂+容器)質量」「ベースプレート中の砂の質量」「砂の単位体積質量」 「⑦の容器質量」「⑪の容器質量」「最大乾燥密度」が入力されます。 ※マスタを使用せず、全てを入力する場合は空欄でも構いません。
⑦の容器質量 ⑪の容器質量	「⑦の容器質量」を入力すると、「⑪の容器質量」に同じ値が入力されます。 「⑪の容器質量」を入力した場合は、値のコピーは行われません。 異なる値を入力したい場合、「⑦の容器質量」→「⑪の容器質量」の順に入力します。
湿潤土質量	「(湿潤土+容器)質量」「⑦の容器質量」から計算されます。 どちらも入力されていない場合、直接入力できます。
乾燥土質量	「(乾燥土+容器)質量」「⑪の容器質量」から計算されます。 どちらも入力されていない場合、直接入力できます。
平均値	「計算チェック」を付けると、この画面の平均値が計算されます。
備考	「Ctrl+Enter」で改行します。

■ 管理表・管理図

管理表・管理図は、入力した全てのページ情報を基にして混合物ごとに管理図が作成されます。
この画面で表示される測定数、平均・最大・最小値は、全てのページ情報の基になります。
管理表のスクロールバーを操作すると、管理図も同じ範囲を描画するようにスクロールします。

[管理表・管理図（抽出試験）]



[特記事項]

項目	計算方法・入力内容など
測定数・平均値 最大値・最小値	データファイル(全てのページ)を対象に算出します。
規格値 自主管理値	基本設定の入力値が表示されます。
グラフ目盛	グラフの原点、間隔を入力すると、グラフの描画範囲を変更する事ができます。

[管理表(図)の表示単位]

項目	計算方法・入力内容など
合成粒度	1ページの試験結果が、管理表(図)の1行と対応します。
基準密度	1ページの平均値(基準密度欄)が、管理表(図)の1行と対応します。
アスファルト抽出試験	1ページの試験結果が、管理表(図)の1行と対応します。
切取コア密度試験	個々の供試体欄が、管理表(図)の1行と対応します。 コア密度画面の平均欄は使用されません。
切取コア抽出試験	1ページの試験結果が、管理表(図)の1行と対応します。
現場密度試験	個々の供試体欄が、管理表(図)の1行と対応します。 現場密度画面の平均欄は使用されません。

■ 総括表

総括表は、入力した全てのページ情報を基にして混合物ごとに作成されます。
この画面で表示される測定数、平均・最大・最小値は、全てのページ情報を基に作成されます。
試験結果の抽出方法(測定数)は、管理図と同じです。

ページ選択

混合物1

混合物2

混合物3

総括表

混合物名1 密粒度アスコン(13)

総括表

	管理項目	測定数	平均値	最大値	最小値	規格値	自主管理値	
日常管理	合成粒度	粒度 2.36mm	5	41.6	42.7	37.3	30.5～ 54.5	36.5～ 48.5
		粒度 75μm	5	7.2	11.0	6.2	1.0～ 11.0	3.5～ 8.5
	基準密度試験	基準 密 度	5	2.379	2.380	2.378	—	2.228～ 2.528
	アスファルト抽出試験	粒度 2.36mm	28	43.2	43.5	43.0	30.5～ 54.5	36.5～ 48.5
		粒度 75μm	28	5.3	5.5	5.0	1.0～ 11.0	3.5～ 8.5
	プラント温度測定	アスファルト量	28	6.00	6.10	5.91	5.10～ 6.90	5.55～ 6.45
		アスファルト	17	150	151	149	—	150～160
		骨材	17	170	172	169	—	165～185
		混合物	17	160	162	159	—	155～175
			11	155	156	154	—	—
現場管理	切取コア密度試験	締 固 め 度	15	98.6	99.2	98.1	平均96.0～111.0	平均97.5～112.0
		厚 さ	15	6.3	6.4	6.2	—	—
	切取コア抽出試験	粒度 2.36mm	5	43.2	43.4	43.0	34.5～ 50.5	38.5～ 46.5
		粒度 75μm	5	5.2	5.3	5.0	2.5～ 9.5	4.0～ 8.0
		アスファルト量	5	6.89	6.97	6.81	5.45～ 6.55	5.70～ 6.30
	現場温度測定	出荷温度	15	165	166	164	—	155～175
		到着温度	15	160	161	158	—	160～170
		数均温度	15	155	156	153	—	150～160
		初轉温度	15	145	146	143	—	140～150
	現場密度試験	締 固 め 度	10	98.6	98.9	98.1	平均96.0～113.0	平均97.5～114.0

[特記事項]

項目	計算方法・入力内容など
測定数・平均値 最大値・最小値	データファイル(全てのページ)を対象に算出します。
規格値 自主管理値	基本設定の入力値が表示されます。
温度項目の見出	環境設定で入力した項目名が使用されます。 ※「プラント温度測定」「現場温度測定」の名称

[総括表の表示単位]

項目	計算方法・入力内容など
合成粒度	1ページの試験結果を、1測定数として計算します。
基準密度試験	1ページの平均値(基準密度欄)を、1測定数として計算します。
アスファルト抽出試験	1ページの試験結果を、1測定数として計算します。
プラント温度測定	個々の温度測定結果を、1測定数として計算します。
切取コア密度試験	個々の供試体欄を、1測定数として計算します。
切取コア抽出試験	1ページの試験結果を、1測定数として計算します。
現場温度測定	個々の温度測定結果を、1測定数として計算します。
現場密度試験	個々の供試体欄を、1測定数として計算します。

4. 報告書の印刷

品質管理試験報告書を印刷する

報告書を印刷する場合、 ボタンをクリックすると、Excel印刷画面が表示されます。
選択可能な帳票は、基本設定画面のページ欄で使用している帳票のみ、出力できます。
バックデータと管理図がひとつのExcelファイルに出力されます。

ボタン	効果
全ての帳票を選択	出力可能な帳票全てを自動的に選択します。
全ての選択を解除	全ての帳票からチェックを外します。

Excel 印刷画面

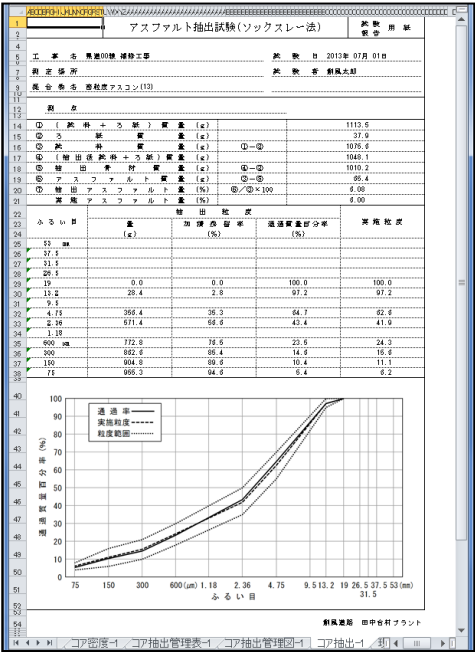
出力したいページに
チェックします

出力済の Excel

 ボタンをクリックすると、Excelファイル
出力先選択画面が表示されますので、出力先を選択し、
「保存」ボタンをクリックします。
※デフォルトの出力先は環境設定で変更する事ができます。

Excelの出力先は、「データフォルダ名」のフォルダが作られ、
さらにその中に「分類名」のフォルダ、その中に「グループ名」の
フォルダが作られます。この分類名フォルダの中にExcelファイル
が出力されます。
なお、分類名/グループ名を空に設定した場合、そのフォルダは
作られません。

[注意]
多くのページデータを一度に出力する(例:50ページ全て選択)と、
Excel出力が遅くなり終わらない場合があります。
この場合、10ページ程度ずつ小分けにして出力すると、状況が
改善する場合があります。



§4. データフォルダの管理

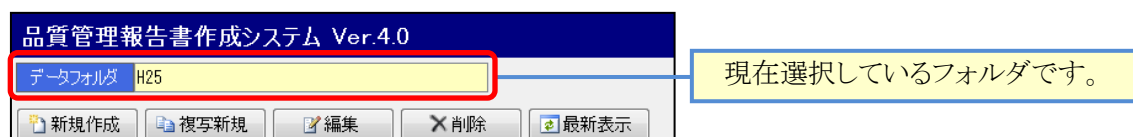
1. データフォルダを管理する

■ データフォルダとは

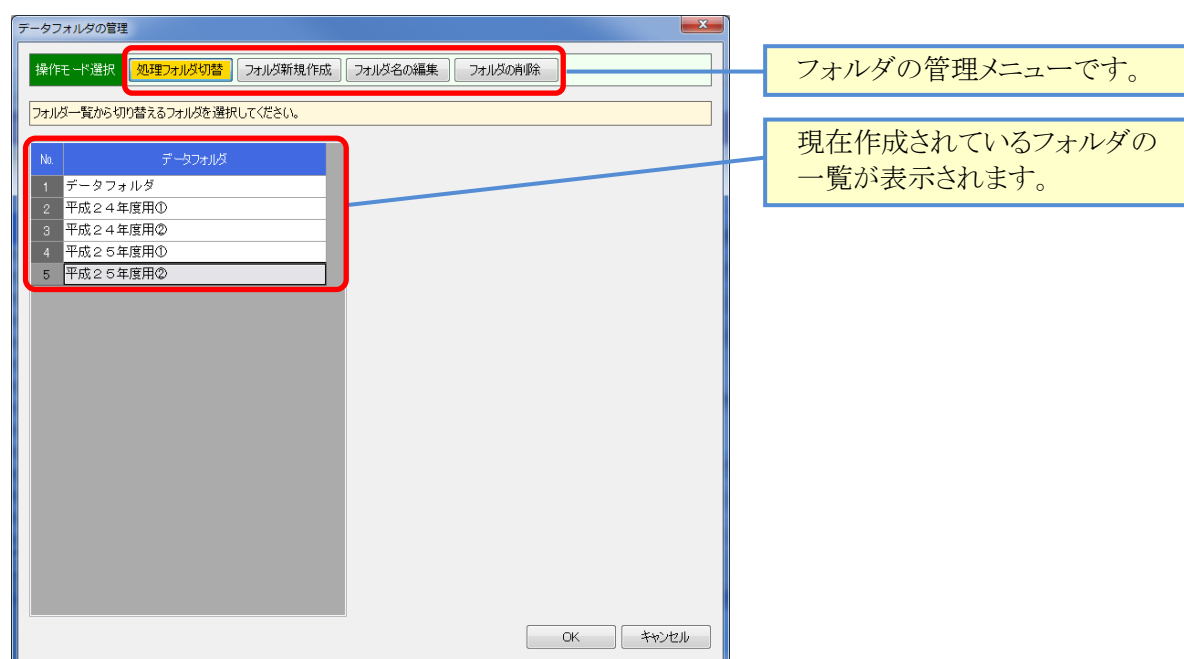
データフォルダは、本システムのデータ管理単位です。混合物マスタ、規格値マスタ、路盤締固めマスタ、データファイルが含まれます。本システムのデータフォルダはWindowsのフォルダとは異なりますが、各データを入れる箱の概念は同じです。

本システムでは、選択しているデータフォルダのみを対象にデータを操作します。

現在選択しているデータフォルダは、メイン画面の左上に表示されます。

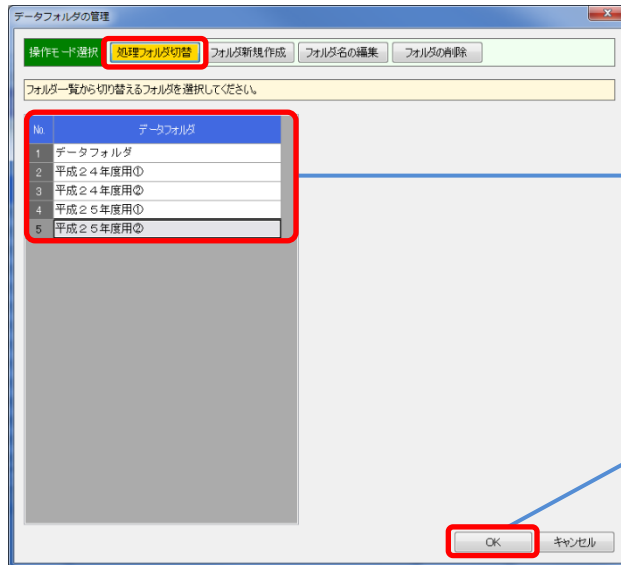


メイン画面から **データフォルダの管理** をクリックすると、データフォルダの管理画面が開きます。操作したい内容をメニューから選択すると、画面が切り替わりますので、必要な内容を入力します。



項目	説明
処理フォルダ切替	メイン画面で使用している、現在のデータフォルダを変更する際に使用します。
フォルダ新規作成	新しくフォルダを作成する際に使用します。 既存フォルダからマスタやデータファイルをコピーする事ができます。
フォルダ名の編集	既存のフォルダ名を変更する際に使用します。
フォルダの削除	既存のフォルダを削除する際に使用します。 フォルダに格納されているマスタやデータも全て削除されます。

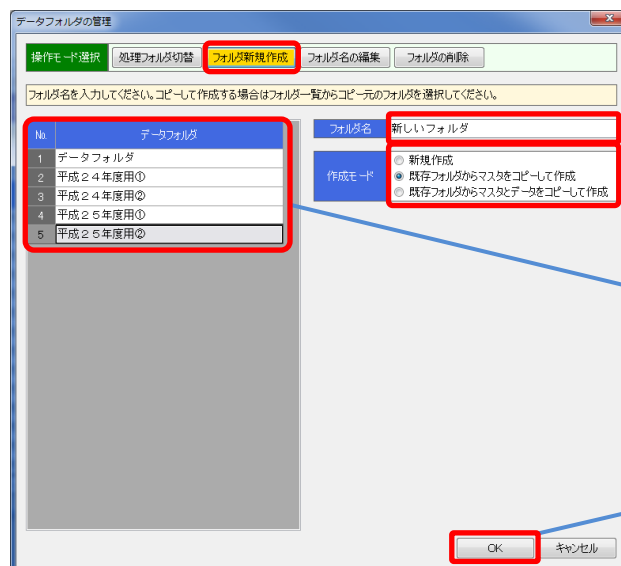
■ データフォルダの選択



フォルダの一覧から、切り替え対象のデータフォルダを選択します。

「OK」ボタンをクリックすると、選択したデータフォルダに切り替わります。

■ データフォルダの新規作成



新規に作成するフォルダ名を入力します。

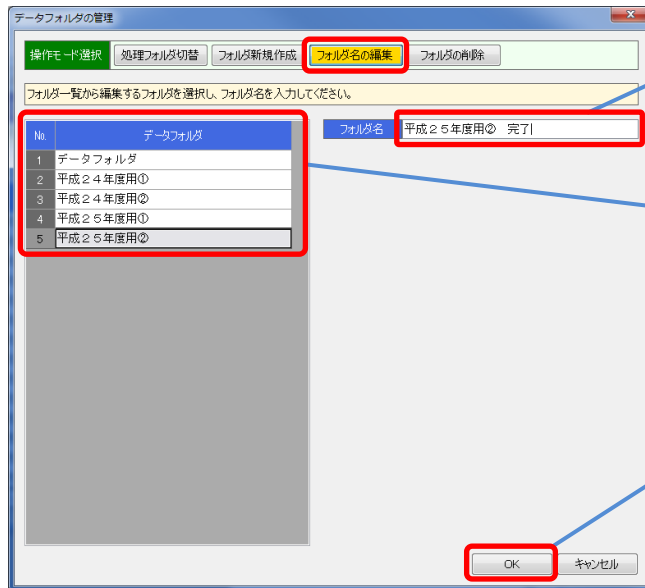
作成モードを選択します。

マスタ・データファイルをコピーする場合、コピー対象のフォルダを選択します。

「OK」を押すとフォルダを作成します。

項目	説明
新規作成	空のフォルダを作成します。
既存フォルダからマスタをコピーして作成	選択したフォルダから、混合物マスタと材料マスタを全てコピーして作成します。同じマスタを使用する場合に指定します。
既存フォルダからマスタとデータをコピーして作成	選択したフォルダから、混合物マスタと材料マスタ、および、全てのデータファイルをコピーして作成します。

■ フォルダの名称変更

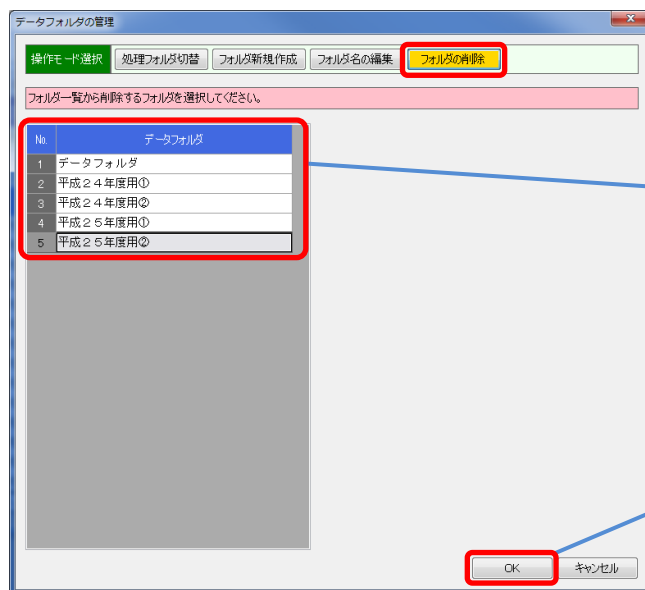


新しいフォルダ名を入力します。

フォルダの一覧から、名前を変更したいフォルダを選択します。

「OK」ボタンをクリックすると、入力した名前に変更されます。

■ データフォルダの削除



フォルダの一覧から、削除したいフォルダを選択します。

「OK」ボタンをクリックすると、選択フォルダが削除されます。

2. エクスポート／インポート

■ エクスポート(フォルダの退避)／インポート(フォルダの復帰)とは

エクスポート、インポート機能は、データフォルダを対象として実行する機能です。

エクスポートでは、現在選択しているデータフォルダの内容全てを、エクスポートファイル(拡張子zdb)として書出します。

インポートでは、退避したエクスポートファイルを、現在選択しているデータフォルダに読み込みます。

使用方法としては、データフォルダを他のPCに移動したい、特定のフォルダだけをバックアップしておきたい、といった場合にエクスポート機能を使用してデータを出力します。

出力されたファイルを、任意のタイミングでインポートする事で、エクスポートされたデータの内容を復帰する事ができます。

インポートを行うと、システムで選択しているフォルダの内容は全て上書きされます。気を付けてご利用下さい。

エクスポートファイルは、既定で下記のようなファイル名と拡張子を使用して保存されます。

[データフォルダ名].zdb

■ フォルダをエクスポートする

メインメニューから、**データフォルダのエクスポート** をクリックすると、エクスポート画面が起動します。

現在、メイン画面で選択しているデータフォルダが表示され、出力対象になります。

出力先のファイル名です。
「変更」ボタンをクリックすると、出力先を変更することができます。

「実行」ボタンをクリックすると、エクスポートが実行されます。

■ フォルダをインポートする

メインメニューから、**データフォルダのインポート** をクリックすると、インポート画面が起動します。

現在、メイン画面で選択しているデータフォルダが表示され、読み込対象になります。

入力対象のファイル名です。
「変更」ボタンをクリックすると、入力元を変更することができます。

「実行」ボタンをクリックすると、インポートが実行されます。

3. バックアップ／リストア

■ バックアップ(データベース全体の退避) / リストア(データベース全体の復帰)

バックアップ、リストア機能は、本システムが使用している全てのデータを対象として実行する機能です。バックアップは、データベースの内容全て(すべてのフォルダ)をバックアップファイル(拡張子zdb)として書出します。

リストアは、バックアップファイルの内容で、現在のデータベース全ての内容(全てのフォルダ)を置換えます。

使用方法としては、PCの障害対策として定期的にバックアップを行ったり、PCの再セットアップ前のデータ保管に使用したり、データベース全体を退避・復帰する用途に使用します。

リストアを行うと、システムのデータベースは全て上書きされます。気を付けてご利用下さい。

バックアップファイルは、既定で下記のようなファイル名と拡張子を使用して保存されます。

QualityManagerDB.zdb

■ データベースをバックアップする

メインメニューから、**データベースのバックアップ** をクリックすると、データベースバックアップ画面が起動します。

バックアップ対象のデータベースが表示されます。

出力先のファイル名です。「変更」ボタンをクリックすると、出力先を変更することができます。

「実行」ボタンをクリックすると、バックアップが実行されます。

■ データベースをリストアする

メインメニューから、**データベースのリストア** をクリックすると、データベースリストア画面が起動します。

リストア対象のデータベースが表示されます。

入力対象のファイル名です。「変更」ボタンをクリックすると、入力元を変更することができます。

「実行」ボタンをクリックすると、リストアが実行されます。

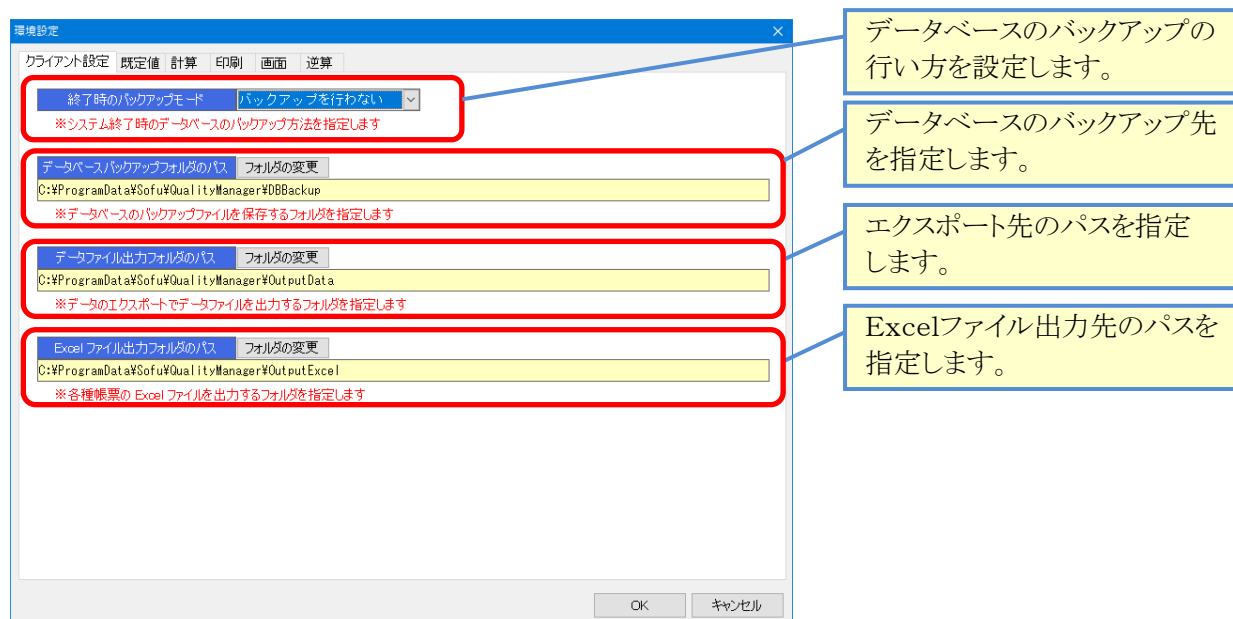
§5. 環境設定

1. 環境設定

■ 環境設定を行う

環境設定では、データベースのバックアップ設定や、各出力ファイルのパスを設定する事ができます。

メイン画面から、**環境設定** をクリックすると、システムの環境設定画面が開きます。



出力先フォルダの設定を変更する場合、「フォルダの変更」ボタンをクリックすると、フォルダを変更できます。「終了時のバックアップモード」では、システム終了時にデータベースのバックアップを実行するか否かを設定しておく事ができます。

バックアップファイルは、下記のファイル名で取得されます。

QualityManagerDB.zdb

なお、このバックアップは毎回同じファイル名で上書きします。バックアップの世代管理を行う場合、ファイルの名前変更とコピーを行ってください。

バックアップモードの設定値

項目	説明
バックアップを行わない	バックアップを行いません。
常にバックアップを実行	常にデータベースのバックアップを行います。
確認画面を表示して実行	システム終了時にバックアップを行うか否かの確認画面を出力します。確認画面で「はい」をクリックした場合のみ、バックアップを実行します。

2. 既定値設定

■ 既定値設定を行う

既定値設定では、報告書データ入力で使用する既定値を設定しておくことができます。
「既定値」タブは、データファイルを作成した際、ここに設定してある既定値が設定されます。
「計算」タブでは、計算に使用する定数を設定しておく事ができます。
「印刷」タブでは、印刷(Excel出力)に使用する項目を設定しておく事ができます。

メイン画面から、**既定値設定** をクリックすると環境設定(既定値設定タブ)が表示されます。

環境設定

クライアント設定 | **既定値** | 計算 | 印刷 | 画面 | 逆算

会社名: 株式会社創風道路
 プラント名: 創風プラント
 試験者名: 創風 太郎

表紙出力様式: 標準様式
 基準密度・抽出出力様式: 標準様式
 コア密度試験出力様式: 標準様式

密度計算方法: かさ
 コア厚さ小数桁数: 1桁
 抽出試験方法: ソックスレー法

力計の係数: 0.15
 パックの密度: 1.08
 体積換算係数: 1.00

推定針入度密度計算方法: 見掛

温度測定

グラフ目盛	原点	間隔
プラント温度	130	10
現場温度	100	10

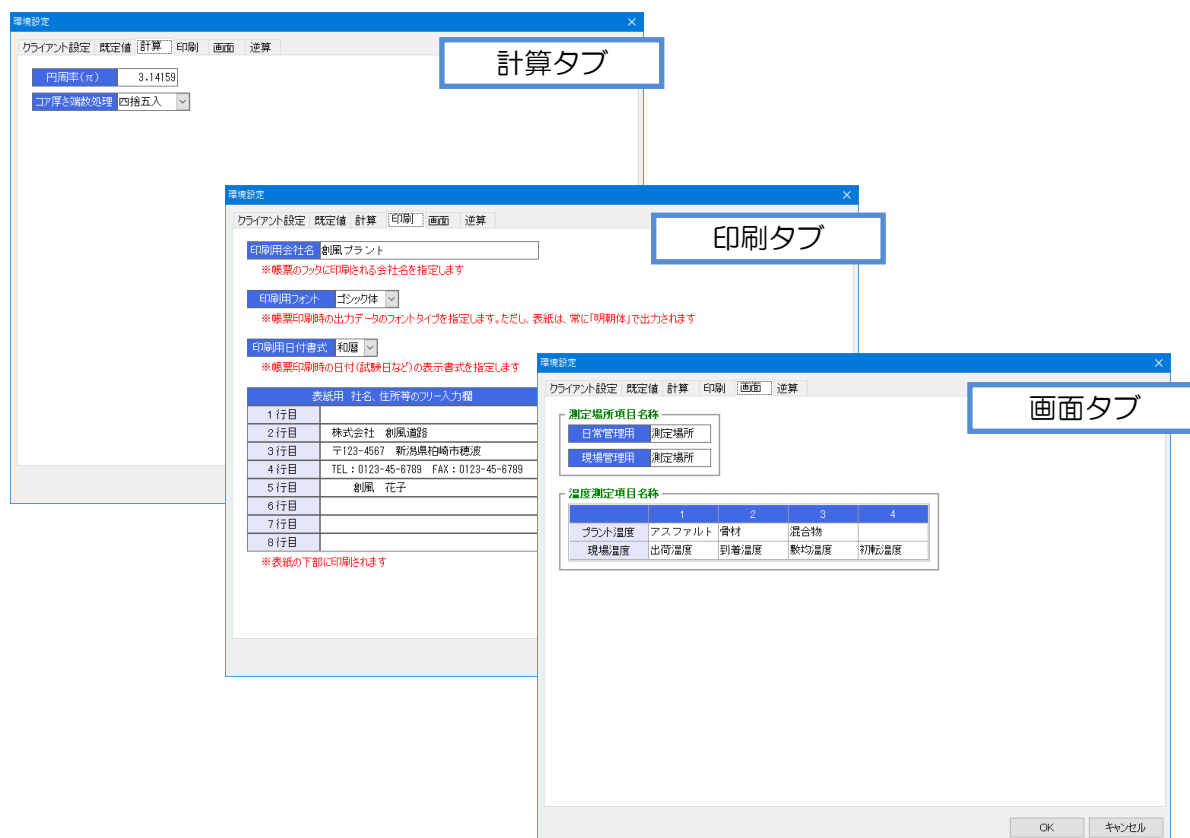
初転圧温度下限値(°C): 110

管理図

グラフ目盛		原点	間隔
日常管理	合成粒度	粒度 2.36mm	34 2
		粒度 75μm	2 1
	基準密度試験	基準密度	2.30 0.02
	アスファルト抽出試験	粒度 2.36mm	34 2
		粒度 75μm	2 1
		アスファルト量	5.0 0.2
現場管理	コア密度試験	締固め度	95 1
		厚さ	3.0 0.5
	コア抽出試験	粒度 2.36mm	34 2
		粒度 75μm	2 1
		アスファルト量	5.0 0.2
	現場密度試験	締固め度	95 1

OK キャンセル

項目	説明
会社名・プラント名	「会社名」「プラント名」欄の既定値として使用されます。
試験者名	「試験者名」欄の既定値に使用します。
表紙出力様式	基本設定－表紙様式の既定値に使用されます。
基準密度・抽出出力様式	基本設定－基準密度・抽出試験様式の既定値に使用されます。
コア密度試験出力様式	基本設定－コア密度試験様式の既定値に使用されます。
密度計算方法	基本設定－密度計算方法の既定値に使用されます。
コア厚さ小数桁数	基本設定－コア厚さ小数桁数の既定値に使用されます。
抽出試験方法	基本設定－抽出試験方法の既定値に使用されます。
力計の係数	マーシャル安定度試験、針入度推定試験の力計の係数の既定値に使用されます。
パックの密度	マーシャル安定度試験のパックの密度の既定値に使用されます。
体積換算係数	マーシャル安定度試験の体積換算係数の既定値に使用されます。
推定針入度密度計算方法	針入度推定試験の密度計算方法の既定値に使用されます。
温度測定	プラント温度、現場温度のグラフ描画範囲の既定値に使用されます。
初転圧温度下限値	基本設定－規格値－初転圧温度下限値の既定値に使用されます。
管理図	管理図のグラフ描画範囲の既定値に使用されます。



項目	説明
円周率(π)	ここに指定した円周率を使用して計算を実行します。
コア厚さ端数処理	切取コア密度試験において、厚さ平均の端数処理方法を選択します。
印刷用会社名	品質管理試験報告書(バックデータ)のフッターに印刷されます。
印刷用フォント	Excel出力の際に使用されるフォントを選択します。
印刷用日付書式	Excel出力の際の日付の書式を「西暦」「和暦」のいずれかから選択します。 選択された日付書式でExcelが出力されます。
表紙用 フリー入力欄	標準様式の表紙下部に印刷されます。
測定場所項目名称	各画面・Excel出力の、ヘッダ項目の名称に使用されます。 日常管理と現場管理で、それぞれ別の名称を設定する事が出来ます。
温度測定項目名称	プラント温度・現場温度の項目名に使用されます。

§6. その他の機能

1. その他の機能

よくある質問(FAQ)を確認する

メイン画面の **よくある質問(FAQ)** をクリックすると、インターネットブラウザが起動し、弊社サイトに接続します。よく頂く質問や、システムのエラーに対する対処方法などを記載していますので活用ください。なお、この機能を使用するには、インターネット接続が必要です。



現在のバージョンを確認する

メイン画面の **バージョン情報** をクリックすると、現在のバージョンが表示されます。



§7. インストール

1. システムのインストール/アンインストール

■ 各種ツールをインストールする

Quality Managerをインストールするには、創風アプリケーションツールCDをインストールする必要があります。創風アプリケーションツールCDには、64ビット版のディスクと32ビット版のディスクがありますので、お使いのPCに合わせて使用するCDを選択してください。

※お使いのPCのOS種類やビットを調べるには、「マイコンピュータ(コンピュータ,または,PC)」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

CDをPCに挿入すると、アプリケーションツールのインストールを行う事ができます。

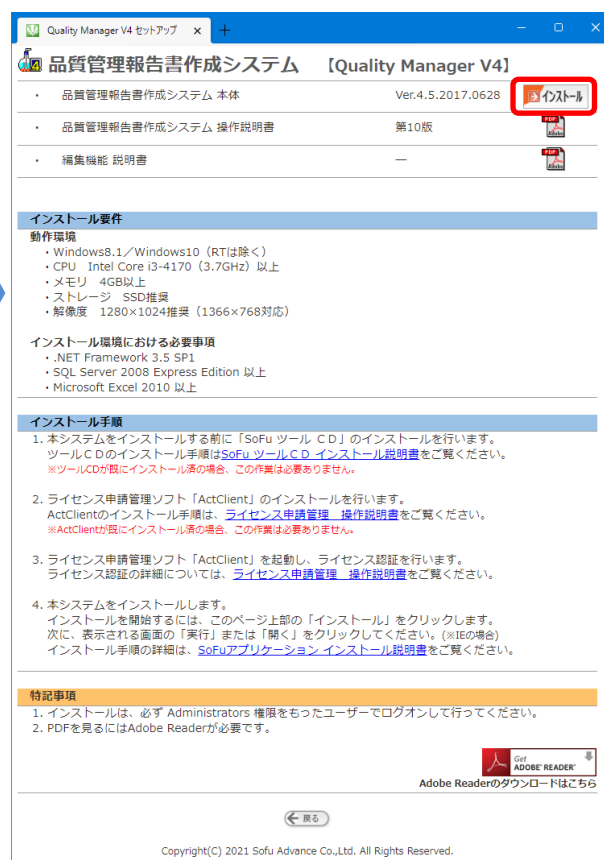
インストールの方法は、CD内のインストール説明書(manualフォルダ内のtool_install.pdf)を参照してください。

※PDFを表示するには、Adobe Readerが必要です。

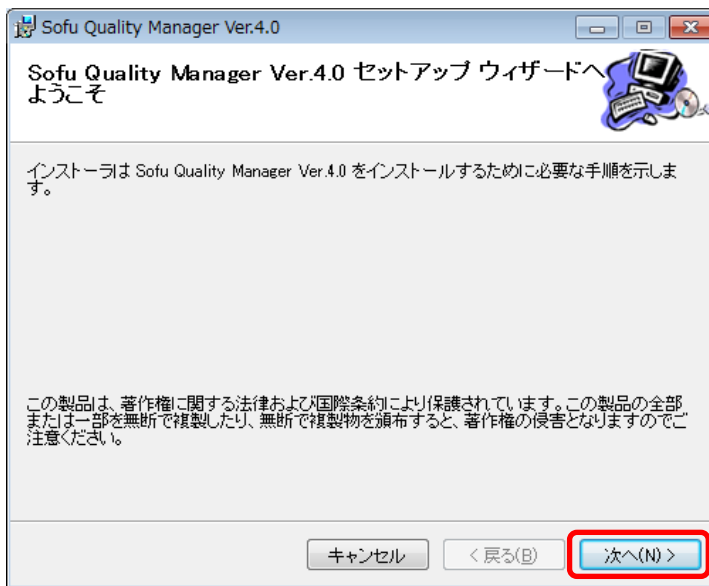
ツールのインストール完了後は、必ずシステムの再起動を行って下さい。

■ Quality Manager をインストールする

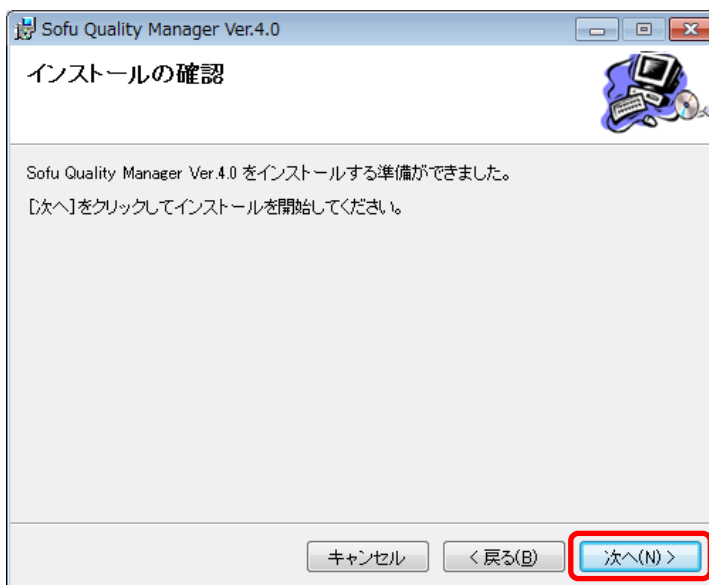
1. CDを挿入すると、下記の画面が表示されますので、最新バージョン欄より、品質管理報告書作成システムの「詳細を見る」をクリックします。続いて表示される画面の「インストール」をクリックします。



2. セットアップが開始されますので、「次へ」をクリックします。



3. 以降の画面も「次へ」を押していくと、システムがインストールされます。
※7の場合、途中の画面でユーザアカウント制御のダイアログが出る事がありますので、「はい」をクリックしてください。



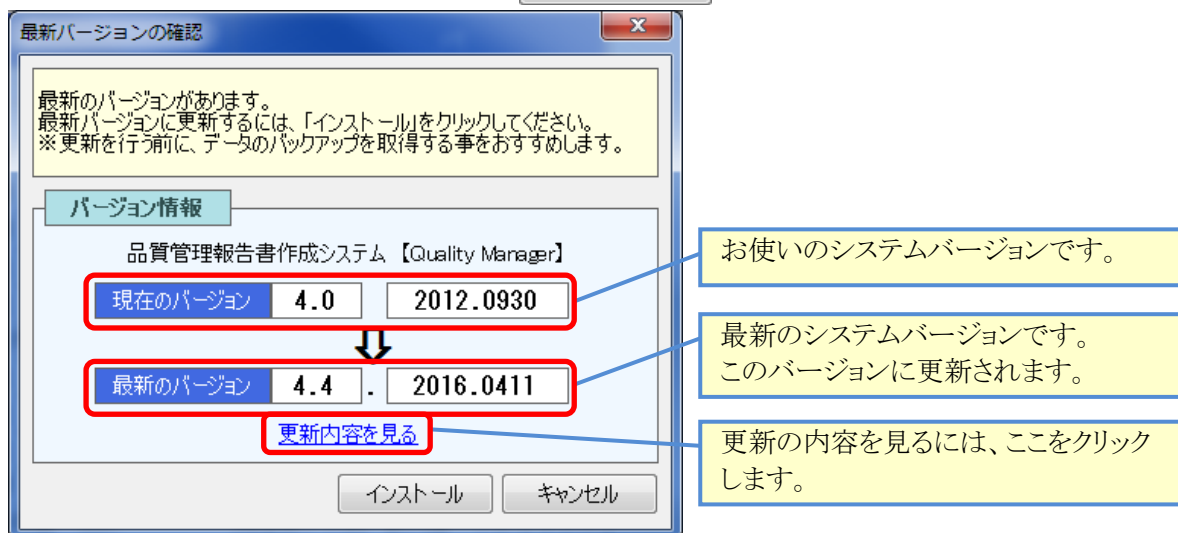
■ Quality Manager の初回起動について

本システムは、最初の起動時にシステムの自動構成を行います。
本システムを使用する場合、初回構成を行うために、1回だけ本システムの再起動を求められる事があります。
メッセージが表示されますので、「OK」をクリックしてください。
初回起動時は、システムが利用するデータベースを初期化するため、起動時間が多少かかる事があります。

■ Quality Manager を最新バージョンに更新する

メインメニューの **最新バージョンの確認** をクリックすると、本システムの最新バージョンを確認したり、最新バージョンに更新する事ができます。
この機能を使用するにはインターネット接続が必要です。

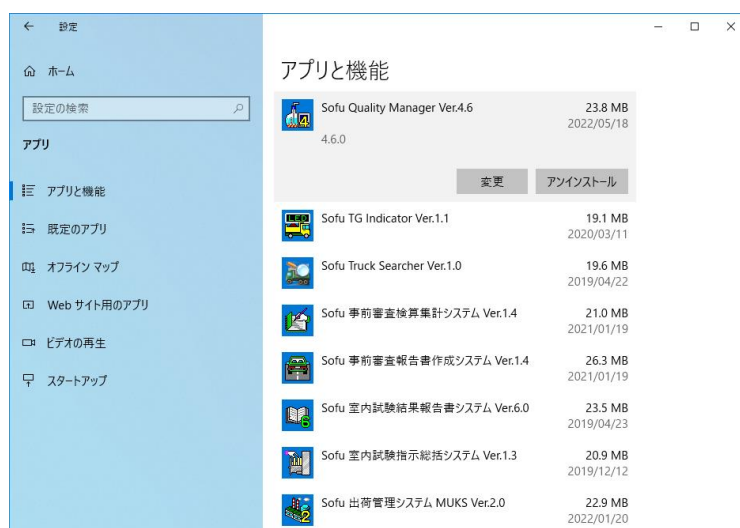
最新バージョンに更新が可能である場合は、 **インストール** ボタンがクリック可能になっています。



更新を行いたい場合、 **インストール** ボタンをクリックしてください。自動的にセットアップが開始されます。
セットアッププログラムの操作方法につきましては、P - 57 - を参照ください。

■ Quality Manager をアンインストールする

[スタート]→[設定]→[アプリ]の順にクリックし、「アプリと機能」を開きます。
表示されている一覧の中から、「Sofu Quality Manager Ver.X.X」を選択し、「アンインストール」をクリックします。



画面の指示に従い、プログラムを削除します。

§8. 注意事項

1. 注意事項

■ データ保存場所について

本システムは、データの保管場所として、データベースである「Microsoft SQL Server 2008 Express Edition」を使用しています。

このため、Windowsファイルを移動してもデータを読む事はできません。

別のPCからデータを読みたいなどの理由でデータを移動したい場合、フォルダのエクスポート・インポート機能 [P- 48 -]を使用する必要があります。

■ ライセンス登録について

本システムでは、システムの使用に際してライセンスの申請を行って頂く必要があります。

ライセンスの申請作業を行う為には、ツールCDに付属の「ライセンス申請管理」ソフトウェアを使用します。

使用方法につきましては、ツールCD内の説明書をご覧ください。

Quality Manager – 品質管理報告書作成システム

操 作 マ ニ ュ ア ル

第11版 2022年6月

株式会社 創風アドバンス

〒945-0822

新潟県柏崎市穂波町1番25号

TEL 0257-22-8446